

令和4年度近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策の実施状況 概要【資料1】

▶ 施策の内容

【施策1】 近江の地場産品の**需要拡大**のための、新商品の開発に対する支援、情報の提供、新たな販路の開拓の促進等

【施策2】 近江の地場産業事業者等の**経営基盤強化**のための、経営改善および合理化、資金の供給の円滑化等

【施策3】 新商品開発等に係る**調査研究**、**多様な分野における事業展開**の促進

【施策4】 担い手となる人材の**確保**、**育成**、**資質向上**に対する支援、優れた**技術等の継承**の推進等

【施策5】 近江の地場産業および近江の地場産品に対する**関心および理解を深める**ための、普及啓発、多様な学習機会の提供等

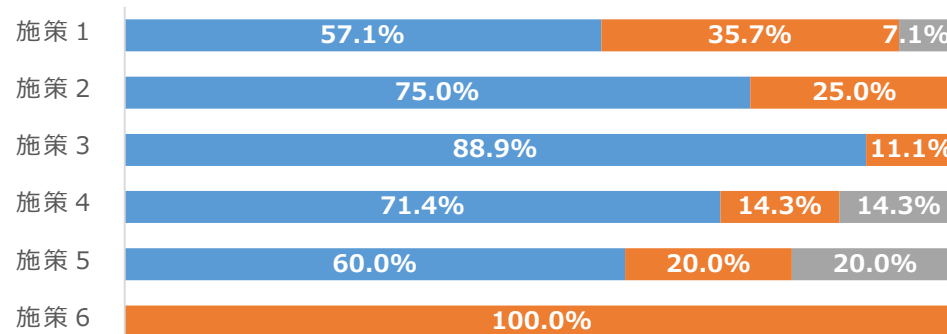
【施策6】 近江の地場産業および近江の地場産品に関する実態についての**定期的な調査**および分析

▶ 施策の事業数と決算額

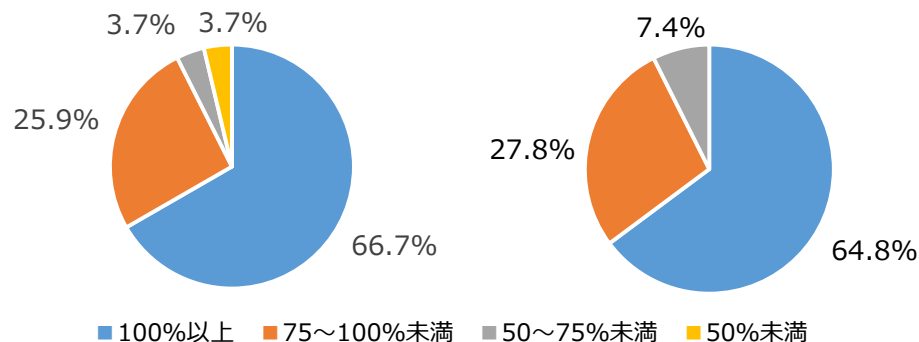
| 施策 | 事業数 | 決算額（千円） |
|-----|-----|------------|
| 施策1 | 39 | 583,640 |
| 施策2 | 7 | 27,791,648 |
| 施策3 | 14 | 495,275 |
| 施策4 | 12 | 69,196 |
| 施策5 | 11 | 675,145 |
| 施策6 | 1 | 30,274 |
| 合計 | 84 | 29,645,178 |

(同一の「施策の内容」内で再掲は除く)

▶ 各事業における設定目標の達成状況



【令和3年度達成状況（合計）】 【令和4年度達成状況（合計）】



令和4年度近江の地場産業および近江の地場製品の振興に関する施策の実施状況 概要

【施策1】 近江の地場製品の**需要拡大**のための、新商品の開発に対する支援、情報の提供、新たな販路の開拓の促進等

近江の地場産業の新たな展開事業（通番29,32）

時代に適合した取組を推進するため、世界市場で注目されているSDGsを意識した海外展開支援や、賛同者が広がるMLGsと創造手にPRを図る取組を支援

▶ 決算額 1,926千円（予算額 1,926千円）

▶ 実績

- ・ 繊維・デザイン分野におけるSDGsについてのセミナーを実施
- ・ 地場産地組合のオンライン工場見学において、動画配信やインスタライブ配信を支援
- ・ 間伐材を使用し、陶磁器を焼成する一般参加型イベントを実施

・ SDGsセミナー（第1回）



・ SDGsセミナー（第2回）



・ 間伐材を使った焼成イベント



【施策2】 近江の地場産業事業者等の**経営基盤の強化**のための、経営改善および合理化、資金の供給の円滑化等

地場産業設備整備支援事業費補助金（通番52）

新型コロナウイルスおよび原油価格・物価の高騰の影響を受けた県内の地場産業事業者に対し、生産体制の強化および新事業の創出のために必要な経費について助成

- ▶ 決算額 59,980千円（予算額 60,000千円）
- ▶ 実績 交付申請：35件 交付決定：13件

（取組み事例）

- ・ 新たな登り窯の設置により多品種少量生産、新たな色合い等による新商品を開発
- ・ カプセル自動充填機の導入による作業効率の改善と品質向上
- ・ ホットガンシステムの導入により、季節環境によるばらつきをなくすなど、塗装品質を向上

・ 設備の導入事例



染色システム



登り窯



CNC切削機

令和4年度近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策の実施状況 概要

【施策3】 新商品開発等に係る調査研究、多様な分野における事業展開の促進

シガリズムコンテンツ創出事業（通番68）

県内各地の価値ある資源を体験・体感することができる滋賀らしいツーリズムを創出するため、観光素材の掘り起こし、魅力分析等を行い、観光誘客につなげる。

- ▶ 決算額 37,684千円（予算額 41,000千円）
- ▶ 実績
 - ・ シガリズムコンテンツ創出件数 67件（目標 64件）

【施策4】 担い手となる人材の確保、育成、資質向上に対する支援、優れた技術等の継承の推進等

滋賀発事業承継プロジェクト促進事業（通番81）

コロナ禍において、自主廃業が増加することが懸念される中、事業者の事業承継ニーズ掘り起こしを強化するとともに、幅広く活用できる補助金により、事業承継を促進

- ▶ 決算額 4,983千円（予算額 6,000千円）
- ▶ 実績
 - ・ 事業承継・引き継ぎ支援センターへ引き継いだ有効な案件数 48件（目標値 20件）
 - ・ 事業承継の課題解決に繋がった事業者 8者（目標値 10者）

【施策5】 近江の地場産業および近江の地場産品に対する関心および理解を深めるための、普及啓発、多様な学習機会の提供等

地域で取り組む担い手育て事業（通番86）

地場産業、伝統工芸の関係人口の増加を図ることを目的に、地域団体等（観光協会や伝統的工芸品の保存会、商工会、学校など）が行う、地場産業や伝統工芸の魅力発信につながる取組について支援

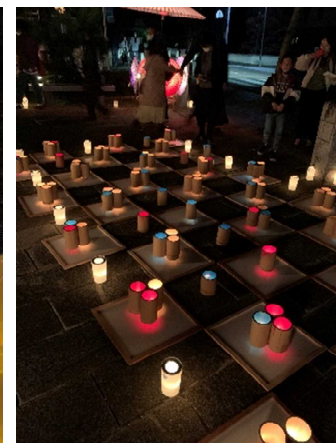
- ▶ 決算額 518千円（予算額 1,000千円）
- ▶ 実績 交付決定 6件
（取組み事例）
 - ・ 近県の美術系大学の3回生を主な対象者とした「信楽焼産地のメーカー等の見学会」を開催
 - ・ 地域住民や観光ボランティアガイドに参加してもらい、県内外の観光客へ、魅力発信の一助を担ってもらうため、伝統的工芸品である「丸竹工芸品」の制作体験会を実施

令和4年度近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策の実施状況 概要

・信楽産地ツアーの様子



・八幡堀まつり内での八幡丸竹工芸品の展示会の様子



報告 「令和4年度近江の地場産業および近江の地場産品の振興功労者表彰」

【近江の地場産業および近江の地場産品の振興功労者表彰】

近江の地場産業および近江の地場産品の振興を図るため、長年にわたり近江の地場産業および近江の地場産品の振興に寄与され、その功績が得に顕著で他の模範となり個人または団体に対し、その功績を称えて表彰するもの。

【表彰の対象となる取組】

- ①需要の拡大
- ②経営基盤の強化
- ③新商品の開発、新たな販路の開拓および多様な分野における事業の展開
- ④担い手人材の確保、育成および資質の向上、優れた技術等の継承

※「長年」とは概ね5年以上

【これまでの受賞者】

| 年度 | 氏名・団体名 | 取組内容 |
|-----|-----------------------|--|
| R03 | 滋賀バルブ協同組合 | 新素材ビワライトの研究開発と新たな販路開拓の取り組み |
| | 伝承工芸愛知川 びん細工手まり保存会 | 県指定伝統的工芸品「愛知川びん細工手まり」の担い手人材確保、後継者育成および伝統的な技法の継承 |
| R02 | 駒田 勤 | 地域団体商標「高島ちぢみ」及び一般商標「飄布（高島帆布）」の登録を通じたブランド化並びに需要拡大 |
| | 大橋 富美夫 | 近江上布伝統工芸士としての湖東麻織物産地における担い手人材確保、後継者育成および伝統的な技法の継承 |
| R01 | 大原 耕造 | 新商品の開発および新たな販路の開拓（照明器具「LED・Shigaraki」の開発、「信楽坪庭」の商品化および商標登録、「香港ハウスウェア」への出展） |
| | 福坂 壽夫 | 地域団体商標の取得、アンテナショップ麻香の出店を通じた需要の拡大 |

報告 「令和4年度近江の地場産業および近江の地場産品の振興功労者表彰」

【日時】 令和5年（2023年）2月13日（月）13:00～13:30

【場所】 滋賀県公館（大津市京町四丁目2-15）

| 氏名・名称 | 取組内容 |
|-------------------------|--|
| 高原 誠治 | 産地内外での催事やイベントでの製作実演や指導を実施。他産地からの工房見学なども柔軟に受け入れるなど、信楽焼の担い手人材の確保、後継者育成、技術等の伝承に貢献。 |
| グリーン近江農業協同組合 日野菜生産部会 | 作付面積・生産量拡大支援・ブランド化に向けたPRの強化に取り組んだ結果、令和3年度には8.6ヘクタール、栽培農家60戸にまで復興。令和4年10月21日「近江日野産日野菜」が「GI（地理的表示）」認定。 |
| 滋賀県酒造組合 | 「滋賀地酒1万人プロジェクト」を始め、近江の地酒を広く普及するために「地酒の祭典in東京」「地酒の祭典in大津」といったイベントを開催し、ファン獲得および需要の拡大に尽力。令和4年4月13日には「滋賀」（清酒）が「GI（地理的表示）」認定。 |



◆ シガリズム体験について



県内各地域において、その土地ならではの地域資源を
発掘し、磨き上げることで、滋賀を深く体験・体感で
きる体験「シガリズム体験」を創出

- ✓ 67のシガリズム体験を創出
- ✓ シガリズム体験販売サイトを構築
- ✓ シガリズム体験カタログを制作

シガリズム体験
販売サイト



◆ シガリズムPRについて



様々な媒体、機会を活用し、本県観光の魅力を発信

- ✓ 滋賀県総合観光パンフレット「シガリズム」の制作

→ ✓ 共同通信PRワイヤーを活用した情報発信

→ ✓ 様々な媒体への広告出稿 (道の駅フリーペーパー等)

✓ 特別企画の実施 (彦根城世界遺産関係、^{こうきよ}聖徳太子薨去1400年関係)

→ ✓ 各種イベントでの情報発信 (ツーリズムEXPOジャパン、イナズマ
ロックフェス等)

創出したシガリズム体験の例

【百人一首で有名な逢坂の関で体験する近江の組紐体験】

○ 5代目の太田浩一氏による、昔から受け継がれてきた珍しい組紐についての説明や実演、組紐の歴史などの解説も聞くことができます。

○ 事業者
：有限会社 藤三郎紐



【創業1730年の近江真綿工房で真綿づくり体験】

○ 角真綿体験、真綿を引き延ばす手引き体験
○ 290年前からほとんど変わらず守られてきた製法や歴史などの貴重なお話を伺います。

○ 事業者
：株式会社
山脇源平商店



【本物の日本刀の材料<玉鋼>で小刀を作る体験】

○ 刀鍛冶しか扱うことを許されない「玉鋼」。日本刀と同じ最上質の材料で小刀を作る刀鍛冶体験です。

○ 人間国宝の技を受け継ぐ田中刀匠の直接指導で、全長約18cm～19.5cmの小刀を作ります。

○ 事業者
：田中貞豊鍛刀場



【180年前の製法を守り続ける「糶屋吉右衛門」で塩こうじ作り体験】

○ 糶屋の伝統製法で発酵させた手造り糶を使って、純度100%の「塩こうじ」作り
○ 「糶」や「発酵」のお話を伺います。

○ 事業者
：糶屋吉右衛門



シガリズムコンテンツ創出事業の令和5年度の取組方針

- ✓ 新たに64のシガリズム体験を創出
- ✓ 令和4年度に引き続き、人との交流があり、体験にストーリー（歴史や文化、そこで体験する背景など）がある商品を造成
- ✓ 県内各市町や観光協会と連携した商品造成
- ✓ 観光事業者だけでなく、農林水産業や地場産業等の事業者と連携した商品造成
- ✓ 令和5年度は、子ども、若年層やファミリー層が気軽に参加でき、多くの人を楽しめる滋賀ならではのカジュアルな体験商品や、高単価な高付加価値体験商品も造成

シガリズム体験創出スキーム

①素材発見

- コーディネーター等によるヒアリングや現地調査（観光関連事業者、農林水産業、地場産業事業者等）。
- 素材の発掘を行う。



②分析・調査・磨き上げ

- 文化的背景や産業発展への経緯などを、地域のガイドや専門家等へ聞き取り調査。
- 商品化に向けて魅力の分析、磨き上げを行う。

③地域との連携

- 観光協会や宿泊施設等からの送客を受けるための調整。
- 地域の文化や歴史などを組込んだストーリー性のある商品の造成。

④商品として販売

- 造成した商品をびわこびわ湖観光ビューローの販売サイトで販売



⑤発信

⑤データ蓄積と更なる磨き上げ

【参考】近江の地場産品とシガリズム体験①



○ 基本指針の対象とする近江の地場産品

ア 近江の地場産業で製造される物品（条例第2条第3項第1号関係）

| | 産地 | 地域 | 産地組合 | 代表的な産品 | 関連するシガリズム体験 |
|---|------------|-------------------|-----------------------------|---|--|
| 1 | 長浜縮緬 | 長浜市 他 | 浜縮緬工業協同組合 | ちりめん、つむぎ | - |
| 2 | 彦根パルプ | 彦根市、犬上郡、 愛荘町 他 | 滋賀パルプ協同組合 | 水道用弁、産業用弁、 船用弁 | - |
| 3 | 彦根仏壇 | 彦根市、米原市、 愛荘町 他 | 彦根仏壇事業協同組合 | 仏壇、仏具 | 仏壇の工房を一部見学、金箔押し体験、 漆/蒔絵体験、漆/塗り箸研ぎ体験（井上仏壇） |
| 4 | 彦根ファンデーション | 彦根市、東近江市、 犬上郡 | ひこね繊維協同組合 | ブラジャー、ガードル、 ショーツ、ボディースーツ、 キャミソール | - |
| 5 | 湖東麻織物 | 東近江市、愛荘町 他 | 湖東繊維工業協同組合、 滋賀県麻織物工業協同組合 | 服地、不織布・芯地、縫製、 染色整理加工、原糸販売 | 地機の機織体験/コースター作り (滋賀県麻織物工業協同組合) |
| 6 | 甲賀・日野製薬 | 甲賀市、日野町 他 | 滋賀県製薬工業協同組合 | 医療用医薬品、一般用医薬 品、配置用家庭薬 | - |
| 7 | 信楽陶器 | 甲賀市 | 信楽陶器工業協同組合 | レンガタイル等建材類、庭 園用品類、食卓用品類、花 器類、植木鉢類 | - |
| 8 | 高島綿織物 | 高島市 | 高島織物工業協同組合 | 綿クレープ、厚織（ゴム資 材、帆布、その他資材） | - |
| 9 | 高島扇骨 | 高島市 | 滋賀県扇子工業協同組合 | 扇骨、扇子 | - |

【参考】近江の地場産品とシガリズム体験②



○ 基本指針の対象とする近江の地場産品

イ 伝統的な技術、技能等を用いて県内で製造される工芸品（条例第2条第3項第2号関係）

| | 工芸品名 | 製造地域 | 製造業者名 | 備考 | 関連するシガリズム体験 |
|----|-------------|------------|---------------------------------------|-----|--|
| 1 | 近江上布 | 愛荘町 | 滋賀県麻織物工業(協) | 国指定 | 地機の機織体験/コースター作り |
| 2 | 網織紬 | 長浜市 | 奥田武雄 奥田重之 | | - |
| 3 | 秦荘紬 | 愛荘町 | 川口織物(有) | | - |
| 4 | 綴錦 | 守山市・米原市 | 織匠[宗八]株式会社清原織物 | | - |
| 5 | 正藍染 | 湖南市 | 植西恒夫 | | - |
| 6 | 手織真田紐 | 東近江市 | 西村操 | | - |
| 7 | 草木染手組組紐 | 大津市 | (有)藤三郎紐 | | 草木染め体験、組紐体験 |
| 8 | 近江刺繍 | 愛荘町 | 近江美術刺繍工芸社 | | - |
| 9 | 彦根織 | 彦根市 | (有)青木刺繍 | | - |
| 10 | 楽器糸 | 長浜市 | 西山生糸組合 木之本町邦楽器原糸製造保存会 丸三ハンモト(株) | | - |
| 11 | 鼻緒 | 長浜市 | 滋賀県花緒サンダル組合 | | - |
| 12 | 特殊生糸 | 長浜市 | 西村英雄 | | - |
| 13 | 押絵細工 | 近江八幡市 | 東川雅彦 | | - |
| 14 | 近江真綿 | 米原市 | 近江真綿振興会 | | 真綿づくり体験（山脇源平商店） |
| 15 | 輪奈ピロード | 長浜市 | (株)タケツネ | | 機織工場の見学、工程の一部「芯抜き」体験 |
| 16 | 信楽焼 | 甲賀市 | 信楽陶器工業(協) | 国指定 | - |
| 17 | 膳所焼 | 大津市 | (有)膳所焼窯元 陽炎園 | | - |
| 18 | 近江下田焼 | 湖南市 | 近江下田焼陶房 | | 「近江下田焼」絵付け体験、手びねり体験 |
| 19 | (再興)湖東焼 | 彦根市 | 中川一志郎 | | - |
| 20 | 提灯 | 長浜市 | かさぜん中川澄美 | | - |
| 21 | ろくろ工芸品 | 長浜市 | 片山木工所 | | いろ色浜独楽作り体験 |
| 22 | 木製桶樽 | 竜王町 | 村田茂朋 | | - |
| 23 | 高島扇骨 | 高島市 | 滋賀県扇子工業(協) | | - |
| 24 | 上丹生木彫 | 米原市 | 上丹生木彫組合 | | - |
| 25 | 八幡丸竹工芸品 | 近江八幡市 | (有)竹松商店 | | - |
| 26 | 木珠(高級木製数珠玉) | 近江八幡市 | (株)カワサキ | | 数珠づくり、アクセサリーづくり体験 |
| 27 | 彦根仏壇 | 彦根市 | 彦根仏壇事業(協) | 国指定 | 仏壇の工房を一部見学、金箔押し体験、漆/蒔絵体験、漆/塗り箸研ぎ体験（井上仏壇） |
| 28 | 浜仏壇 | 長浜市 | 浜仏壇工芸会 | | - |
| 29 | 銚金具 | 長浜市 | 辻清 | | - |
| 30 | 近江雁皮紙 | 大津市 | (有)成子紙工房 | | - |
| 31 | 雲平筆 | 高島市 | 筆師第15世 藤野雲平 | | - |
| 32 | 和ろうそく | 高島市 長浜市 | (有)大與 北村雅明 | | - |
| 33 | 太鼓 | 愛荘町 | 正木専治郎 二代目 杉本才次 | | - |
| 34 | 大津絵 | 大津市 | 高橋松山 | | - |
| 35 | 長村梵鐘 | 東近江市 | (株)金壽堂 | | - |
| 36 | 小幡人形 | 東近江市 | 細居源悟 | | - |
| 37 | 愛知川びん細工手まり | 愛荘町 | 伝承工芸愛知川びん細工手まり保存会 | | - |
| 38 | いぶし鬼瓦 | 大津市 | 美濃邊鬼瓦工房 | | - |
| 39 | 神輿 | 野洲市 | (株)さかい | | - |
| 40 | 江州よしすだれ | 東近江市 | (株)タイナカ よし藤 田井中憲一 | | - |

【参考】近江の地場産品とシガリズム体験③



○ 基本指針の対象とする近江の地場産品

イ 県内で生産され、本県を代表する農産物、林産物、畜産物および水産物ならびにこれらを原料または材料として製造し、または加工した物品であって、知事が認めるもの
(条例第2条第3項第3号関係)

① 本県を代表する農林水産物

| 名称 | 地域 | 関連するシガリズム体験 |
|-----------|------|--|
| 近江牛 | 県下全域 | - |
| 近江しゃも | 県下全域 | - |
| 近江の茶 | 県下全域 | お茶摘み体験 (お茶芽Dream朝宮) |
| 近江の伝統野菜 | 県下全域 | 日野采收穫・漬物体験 (日野観光協会) |
| 近江米 | 県下全域 | - |
| 環境こだわり農産物 | 県下全域 | - |
| びわ湖材 | 県下全域 | - |
| 琵琶湖のヨシ | 県下全域 | 水郷めぐり (水郷のさと まるやま) ※ヨシの横をとおる |
| 琵琶湖産魚介類 | 県下全域 | 伝統漁体験 (フィッシャーアーキテクト) |
| 養殖アユ | 県下全域 | - |
| 養殖ビワマス | 県下全域 | ビワマス釣り体験 (しがとき) ビワマスさばき体験、 ビワマス等を使った昼食 (ひさご寿し) |
| 琵琶湖産淡水真珠 | 県下全域 | ネックレス作り体験 (ビワコパールサプライズ) |

② 特定農林水産物等の名称の保護に関する法律に基づく登録品目 (令和3年11月現在)

| 名称 | 登録年 | 関連するシガリズム体験 |
|------|----------|-------------|
| 近江牛 | 平成29年12月 | - |
| 伊吹そば | 令和元年9月 | - |

③ ①、②の指定品目または登録品目を原料または材料として製造し、または加工した物品 (例) 近江の地酒、近江のつけもの、鮎ずし 等

| 名称 | 関連するシガリズム体験 |
|---------|---------------------|
| 近江の地酒 | 酒造見学&飲み比べ体験 (岡村本家) |
| | 蔵見学&試飲 (川島酒造) |
| 近江のつけもの | 日野采收穫・漬物体験 (日野観光協会) |

※あくまで、基本指針の対象とする近江の地場産品と関連するであろうシガリズム体験を列举しており、必ずしも地場産品と体験が合致するわけではない。

令和4年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

| 通番 | 項目 | 事業名 | 事業概要 | 事業の実施状況(R05.3月末) | | | | 課題と今後の取組 | | | | 決算額 (千円) | 担当課 | 再掲 | | |
|--|----|-------------------------|---|---|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|-------|-------|-------------|----------|----|------------------------|----|
| | | | | 指標 | 達成度% | | | 令和7年度の 実績値 (目標値) | 達成度% | | | | | | 最終目標値 【事業の 最終年度】 | 備考 |
| | | | | | 令和4年度の 実績値 (目標値) | 令和5年度の 実績値 (目標値) | 令和6年度の 実績値 (目標値) | | 令和8年度の 実績値 (目標値) | | | | | | | |
| 1) 近江の地場産品の需要拡大のための、新商品の開発に対する支援、情報の提供、新たな販路の開拓の促進等(47事業) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ア 近江の地場産品のPRイベントや地産地消を推進するキャンペーンの実施、近江の地場産業事業者等のPR活動に対する支援(15事業) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | | 創 「発酵産業」成長促進プロジェクト事業 | 地域の資源や素材を活かした発酵産業の創出を図るため、県内事業者による発酵を軸とした新たな商品・サービスの開発や販路拡大、認知度向上に向けた取組を支援する。 | ターゲットを意識した商品・サービス開発、販路開拓および学びの推進 | 100% | | | | | | | 2,629 | 商工政策課 | - | | |
| | | | | プロジェクト件数 | 6件 (6件) | () | () | () | () | 【-】 | | | | | | |
| 2 | | 伝統的工芸品月間等参加事業 | 伝統的工芸品産業の振興を図るため、(一財)伝統的工芸品産業振興協会が実施する伝統的工芸品月間事業と全国伝統的工芸品展に参加する。 | ○伝統的工芸品月間事業 出展者：信楽焼 開催期間：11月18日(金)～20日(日) 開催場所：秋田市にぎわい交流館AU(秋田県) ○全国伝統的工芸品展 開催期間：①令和4年8月24日(水)～30日(火) ②令和5年2月23日(木)～3月2日(木) 開催場所：①阪急うめだ本店(大阪市北区) ②銀座松屋(東京都中央区) 出展者：①近江上布、綴錦、彦根仏壇 ②信楽焼、上丹生木木彫、ろくろ工芸品、和ろうそく | | | | | | | | 2,456 | モノづくり振興課 | 17 | | |
| | | | | WAZA展への出展を通して「販路開拓につながった」と感じた事業者の割合 | 103% | 83.3% | (80%) | (80%) | (80%) | (80%) | (80%) | | | | 【-】 | |

令和4年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

| 通番 | 項目 | 事業名 | 事業概要 | 事業の実施状況(R05.3月末) | | | 課題と今後の取組 | | | | 決算額 (千円) | 担当課 | 再掲 | |
|----|----|--------------------------|---|--|------------------------|------------------------|--|------------------------|------------------------|------------------------|-------------|----------|----------------|----------------|
| | | | | 指標 | 達成度% | | | 達成度% | | | | | | |
| | | | | | 令和4年度の 実績値 (目標値) | 令和5年度の 実績値 (目標値) | 令和6年度の 実績値 (目標値) | 令和7年度の 実績値 (目標値) | 令和8年度の 実績値 (目標値) | 最終目標値 【事業の 最終年度】 | | | | 備考 |
| 3 | | 創 「滋賀県モノづくり・匠の技展」開催事業 | 伝統的工芸品等の、手仕事の技術の高さ・実用性・美といった価値を広く県民に伝えるため、体験・実演・展示・販売の総合的な取組を実施する。 | ○「滋賀県モノづくり・匠の技展」 開催期間：11月13日(金)～15日(日) 開催場所：イオンモール草津1階セントラルコート 出展者：愛知川びん細工手まり、上丹生木彫、ろくろ工芸品、木珠(高級木製数珠玉)、綴錦、信楽焼、甲賀・日野製菓、和ろうそく、草木染手組組紐、彦根仏壇、近江上布(11事業者) 内容：展示販売、製作実演、製作体験等 | | | 売上の減少があったが、発信機会の創出には寄与した。次年度は、発信だけでなく、伝統的工芸品に対する興味・関心・共感の醸成を図る。 | | | | 2,897 | モノづくり振興課 | - | |
| | | | | 「周知を図ることができた」と感じた出展事業者の割合 | 100% | 80% | (80%) | (80%) | (80%) | (80%) | | | | (80%) |
| 4 | | 創 近江の地域産業振興総合支援事業 | 地場産業組合等が実施する海外の販路開拓、持続的発展に向けた後継者育成や国内での販路拡大等、ブランド力向上を目指した取り組みを支援する。 | ○地域産業総合推進事業 施策推進協議会や地場産業表彰を実施した。 ○地場産業事業者等販路開拓応援事業 デザイナー等の専門家を事業者の元に派遣し、海外に向けたマーケットインでの商品開発や販路開拓をの取組を支援した。 ○地場産業組合等指導支援補助金 滋賀県中小企業団体中央会が地場産業の振興を目的に行う新事業創出のための啓発活動や指導事業等に対して助成した。 ○地場産業組合等海外展開戦略等支援補助金 国内外の販路開拓や後継者育成に取り組んだ組合に対して助成した。 等 | | | ・近江の地域産業振興総合支援事業については1/2の補助率であるが、零細な組合にとっては、1/2の自己負担を負担することが困難なところもある。 ・より効果的に実施できるよう、内容や発信方法について絶えず改善を続ける必要がある。 ・継続的、定期的に事業を実施することが認知度向上には重要であるが、長期目標を定め、より戦略的な取組に対して支援する必要がある。 | | | | 30,274 | モノづくり振興課 | 27 72 93 | |
| | | | | 商品開発や販路開拓に取り組んだ事業者の数 | 87% | 13者 (15者) | () | () | () | () | | | | 15者 【R04年度】 |

令和4年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

| 通番 | 項目 | 事業名 | 事業概要 | 事業の実施状況(R05.3月末) | | | | 課題と今後の取組 | | | | 決算額 (千円) | 担当課 | 再掲 | |
|----|----|--------------------|--|---|--|------------------------|--------------------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|-----|------------------|-------|-----------|----|
| | | | | 指標 | 達成度% | | | 令和7年度の 実績値 (目標値) | 令和8年度の 実績値 (目標値) | 最終目標値 【事業の 最終年度】 | 備考 | | | | |
| | | | | | 令和4年度の 実績値 (目標値) | 令和5年度の 実績値 (目標値) | 令和6年度の 実績値 (目標値) | | | | | | | | |
| 5 | | 近江の地酒文化普及事業 | 近江の地酒に関する魅力を発信し、県民等の近江の地酒に対する愛着を高め、地酒でもてなす機運を醸成することで新たなファン獲得や需要の掘り起こしを行い、滋賀への誘客促進や関係人口の創出を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ○「近江の地酒」に関する魅力の発信 <ul style="list-style-type: none"> ・近江の地酒もてなし普及協議会開催 ・地酒イベントキャンペーンの開催 ・Web広告に係る情報発信 ○「近江の地酒」認知度向上・ファン獲得 <ul style="list-style-type: none"> ・近江の地酒ファン獲得に繋がる資材の作成 滋賀県酒造組合が首都圏等で開催するイベントを支援 | 近江の地酒のさらなる認知度向上およびファン獲得が必要であることから、引き続きイベントなどを活用しながら、近江の地酒の魅力を発信することにより、需要の拡大や、滋賀への誘客を促進する。 | 198%、114% | 99件、 11,403人 (50件、 10,000人) | () | () | () | () | 【】 | 3,181 | 観光振興局 | 82 |
| 6 | | 食べて健康「滋賀の野菜」消費拡大事業 | 関係団体等と連携し、世代やターゲットごとに新たな食べ方提案やエビデンス等に基づいた近江米の魅力を発信する。また、子どもたちへの食育活動や消費者自ら近江米の魅力を発信することで近江米のファンをさらに広げる。 | <ul style="list-style-type: none"> ○「滋賀めし」メニューコンテストの開催（応募数64件） ○県産野菜を使用したメニューフェアの開催（11～12月、県内37事業者参加） ○野菜摂取量測定会の開催（8回、のべ632人参加） ○クックパッドレシピ掲載（94レシピ） ○民間企業との連携 平和堂で惣菜提供（びわこの日）、カゴメ（「滋賀めし」メニューコンテスト）など | <ul style="list-style-type: none"> ○「内食」「中食」「外食」と様々なシーンで消費者の野菜の摂取量増に対する意識・行動変容を促すため、引き続きメニューフェアや野菜摂取量測定会等を通じて県産野菜の消費拡大を推進する。 | 95.0% | 57事業者 (60事業者) | (65事業者) | () | () | () | 65事業者 【R05年度】 | 5,228 | みらいの農業振興課 | 20 |
| 7 | | 近江米消費拡大推進事業 | 関係団体等と連携し、世代やターゲットごとに新たな食べ方提案やエビデンス等に基づいた近江米の魅力を発信する。また、子どもたちへの食育活動や消費者自ら近江米の魅力を発信することで近江米のファンをさらに広げる。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ラジオ生放送特番（11/19放送） 近江米PR隊長による近江米や米食の魅力をPR ○「#朝から近江米」ラジオコーナー（9/30～11/18）計6回 ○「#朝から近江米」写真投稿キャンペーン（8/10～10/31）投稿数385 | <ul style="list-style-type: none"> ○米の消費量は年々減少減少しており、特に家庭や若年層の消費の減少が顕著であることから、今後も県内での消費拡大PRイベントの開催や食育活動を通じたPR等により、近江米のファンを確保する。 | 92.6% | 926 (1,000) | (1,500) | () | () | () | 1,500 【R05年度】 | 2,700 | みらいの農業振興課 | 84 |

令和4年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

| 通番 | 項目 | 事業名 | 事業概要 | 事業の実施状況(R05.3月末) | | | | 課題と今後の取組 | | | | 決算額 (千円) | 担当課 | 再掲 | |
|----|----|---------------------------------------|--|---|---|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------|------------------------|-------------|-----|----|----|
| | | | | 指標 | 達成度% | | | 令和7年度の 実績値 (目標値) | 達成度% | | 最終目標値 【事業の 最終年度】 | | | | 備考 |
| | | | | | 令和4年度の 実績値 (目標値) | 令和5年度の 実績値 (目標値) | 令和6年度の 実績値 (目標値) | | 令和8年度の 実績値 (目標値) | | | | | | |
| 8 | | ① 地域ニーズに応える 直売所等応援事業 | 直売所が実施するデータ分析に基づく生産・販売戦略の策定や戦略に基づく取組、生産者等が実施するネット販売の取組を支援する。 | ○データ分析に基づく直売所生産・販売戦略を策定した直売所数 2か所 ○ICTアドバイザー派遣 14事業者、のべ19回 | ○POSデータや商圈データなど様々なデータを分析・活用することにより、消費者ニーズに基づく生産・供給体制の強化やICTを活用した新たな流通・販売方法の習得を支援する。 | 6,238 | みらいの農業振興課 | - | | | | | | | |
| | | | | ICTの強化 に取り組む事 業者数 | 93.3% 14事業者 (15事業者) | (15事業者) | () | () | () | 15事業者 【R05年度】 | | | | | |
| 9 | | ① 地域食品産業連携プ ロジェクト(LFP P)推進事業 | 持続可能な新たなビジネスモデルを創出するため地域の食と農に関する多様な関係者が参画したプラットフォームを形成し、食品関連事業者等の新商品開発等に向けた取組を支援する。 | ○LFPプラットフォームの形成 研修会の開催、戦略会議の開催等 ○新商品開発等に向けた取組 県産小麦(びわほなみ)100%の中華麵の開発、消費者評価会の開催、販路開拓等の取組を支援 | - | - | - | - | - | - | 5,781 | みらいの農業振興課 | - | | |
| | | | | - | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - 【-】 | | | | | |
| 10 | | ① 新時代の近江牛応援 団づくり事業 | 県内の児童等が近江牛や食の安全に対する理解を深め、将来の近江牛ファンを育てるだけでなく、関係者同士が近江牛のPRを通じて有機的なつながりを持ち、新たな近江牛応援団を獲得する取組に対し支援する。 | ○将来の近江牛応援団を育てる取組等、関係者同士が有機的なつながりを図る取組を支援(補助金) | ○引き続き、近江牛の出前講座により、近江牛への愛着度を高めながら、将来の近江牛ファンの確保や職業としての農業や食肉販売業の担い手を確保する取組を継続する必要がある | 1,974 | 畜産課 | 89 | | | | | | | |
| | | | | - | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - 【-】 | | | | | |
| 11 | | 水産物流通促進対策 事業 | 県内の児童等が近江牛や食の安全に対する理解を深め、将来の近江牛ファンを育てるだけでなく、関係者同士が近江牛のPRを通じて有機的なつながりを持ち、新たな近江牛応援団を獲得する取組に対し支援する。 | ○滋賀県水産加工業協同組合が行う琵琶湖の魚介類の普及宣伝活動に対して支援を行った。主な活動として滋賀県水産物加工品品評会の開催や、びわ湖マラソンの物販ブースに出展した。 | 【課題】 琵琶湖の魚介類のおいしさを広く周知するとともに、イメージ向上とその定着を図るため、継続的な取組が必要。 【今後の取組】 ・滋賀県水産物加工品品評会の継続的な開催 ・琵琶湖の魚介類のPR及び情報発信 | 500 | 水産課 | 41 46 | | | | | | | |
| | | | | - | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - 【-】 | | | | | |

令和4年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

| 通番 | 項目 | 事業名 | 事業概要 | 事業の実施状況(R05.3月末) | | | | 課題と今後の取組 | | | | 決算額 (千円) | 担当課 | 再掲 |
|----|----|------------------|---|---|------------------------|------------------------|------------------------|--|------------------------|------------------------|----|-------------|-------|----|
| | | | | 指標 | 達成度% | | | 達成度% | | | 備考 | | | |
| | | | | | 令和4年度の 実績値 (目標値) | 令和5年度の 実績値 (目標値) | 令和6年度の 実績値 (目標値) | 令和7年度の 実績値 (目標値) | 令和8年度の 実績値 (目標値) | 最終目標値 【事業の 最終年度】 | | | | |
| 12 | | しがの水産物流通拡大対策事業 | 「びわサーモン」の特徴を広く周知するとともに、イメージの向上と定着を図るため、PR活動や新たなメニュー開発などに対して支援。 | 〇地元料理店、料理人等との連携による新たなびわサーモンメニューの開発および提供 〇消費者に向けたびわサーモンの情報発信 | | | | 【課題】 「びわサーモン」の特徴を広く周知しブランド定着を図るため、継続した情報発信と取組が必要。 【今後の取組】 ・PRも兼ねた新たな販路の開拓 ・新商品の開発および提供 ・消費者に向けた情報発信 | | | | 200 | 水産課 | - |
| | | | | - | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - 【-】 | | | | |
| 13 | | 多様で革新的な流通モデル実践事業 | 今後の高齢化による琵琶湖漁業の構造変化を見据え、漁業組織が経営スキルの強化を目的に、流通事業者と連携して湖魚の新たな流通モデルの検討・実践を行う取組を支援する。 | 湖魚の新たな販路・流通の確立に向けて、市場調査や流通手法についての検討を行い、首都圏等の大都市圏等へ向けた流通モデルの実践と評価を行う。 | | | | 湖魚の新たな販路・流通の確立に向けて、市場調査や流通手法についての検討を行い、首都圏等の大都市圏等へ向けた流通モデルの実践と評価を行う。 | | | | 7,675 | 水産課 | - |
| | | | | - | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - 【-】 | | | | |
| 14 | | 魚のゆりかご水田米販路開拓事業 | 魚のゆりかご水田米の取組について、首都圏や京阪神地域の小売業や流通業者を現地に招くことにより販路開拓を図る「現地ツアー」、および京阪神地域のショッピングモールで、取組紹介やマーケティング等のPR活動を行う。 | 〇魚のゆりかご水田米現地視察ツアー ・首都圏や京阪神地域の米卸や小売業者を魚のゆりかご水田米生産現地に招聘する。説明会、ミニ商談会の実施。 〇京阪神地域でのPR活動の実施 ・ショッピングモールや百貨店でのPR活動 | | | | 世界農業遺産に認定された「琵琶湖システム」の中核となるプロジェクトとして、「魚のゆりかご水田米」が安定的に生産され、流通していくことが必要。生態系保全の特徴をしっかりと消費者に伝え、ブランド米として確立させる必要がある。 | | | | 883 | 農村振興課 | - |
| | | | | PR活動の件数 | 100% 2 (2) | () | () | () | () | 【] | | | | |
| 15 | | 滋賀のくすり振興対策事業 | 「滋賀のくすり」のイメージアップを図り、販路を拡大するための啓発活動に対して支援する。 | 〇(一社) 滋賀県薬業協会が行う滋賀のくすり販売促進活動事業の支援をした。(補助金) | | | | 〇「滋賀のくすり」の販売を促進するために、啓発資材の作成やミニくすり展の開催は有用であるため、引き続き事業を支援する必要がある。 | | | | 500 | 薬務課 | - |
| | | | | - | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - 【-】 | | | | |

令和4年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

| 通番 | 項目 | 事業名 | 事業概要 | 事業の実施状況(R05.3月末) | | | 課題と今後の取組 | | | | 決算額 (千円) | 担当課 | 再掲 | |
|--|----|---------------|---|---|--|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|-------------|-------|-------|-----|
| | | | | 指標 | 達成度% | | | 達成度% | | 最終目標値 【事業の 最終年度】 | | | | 備考 |
| | | | | | 令和4年度の 実績値 (目標値) | 令和5年度の 実績値 (目標値) | 令和6年度の 実績値 (目標値) | 令和7年度の 実績値 (目標値) | 令和8年度の 実績値 (目標値) | | | | | |
| イ 首都圏情報発信拠点「ここ滋賀」を活用したPRイベントの開催等、首都圏における近江の地場産業事業者等の販路開拓等取組支援(9事業) | | | | | | | | | | | | | | |
| 16 | 創 | ここ滋賀推進事業 | 第2期(令和4年度～令和8年度)の運営事業者と連携して情報発信拠点「ここ滋賀」を運営し、滋賀の魅力を実際に見て、触れて、食べることができる体験型の発信を行うとともに、滋賀への誘引と関係人口の創出につなげる。あわせて、「ここ滋賀」外への販路拡大に向けた支援や、首都圏での滋賀ファンの拡大などにも取り組む。 | ○情報発信拠点運営事業 ・「ここ滋賀」運営にかかる賃借料や運営管理費など ○滋賀の魅力体感創造事業 ・情報発信や観光誘客の強化に向けた取組・企画催事やメディア発信の実施・県産品の販売促進や販路開拓、首都圏での展示会や即売会の開催支援など、県内事業者との連携 | コロナ禍からの回復を見据えて、更なる魅力発信の強化ならびに来館者および県内事業者の満足度向上を図るとともに、拠点機能の最大化をめざして、拠点の各機能および事業ごとに具体的な取組を着実に進めていく。 | | | | 202,466 | 観光振興(ここ滋賀) | - | | | |
| | | | | 77% | 347,918人 (45万人) | () | () | () | | | | () | 【】 | |
| 17 | | 伝統的工芸品月間等参加事業 | 伝統的工芸品産業の振興を図るため、(一財)伝統的工芸品産業振興協会が実施する伝統的工芸品月間事業と全国伝統的工芸品展に参加する。 | ○伝統的工芸品月間事業 出展者：信楽焼 開催期間：11月18日(金)～20日(日) 開催場所：秋田市にぎわい交流館AU(秋田県) ○全国伝統的工芸品展 開催期間：①令和4年8月24日(水)～30日(火) ②令和5年2月23日(木)～3月2日(木) 開催場所：①阪急うめだ本店(大阪市北区) ②銀座松屋(東京都中央区) 出展者：①近江上布、綴錦、彦根仏壇 ②信楽焼、上丹生木木彫、ろくろ工芸品、和ろうそく | 全国伝統的工芸品展では、夏と冬の2回に分けて、場所も変え実施し、販路開拓に寄与した。次年度もPR・広報をより強化し、効果的な事業展開を図る。 | | | | (再掲) | モノづくり振興課 | 2 | | | |
| | | | | 103% | WAZA展への出展を通して「販路開拓につながった」と感じた事業者の割合 83.3% (80%) | (80%) | (80%) | (80%) | | | | (80%) | (80%) | 【-】 |

令和4年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

| 通番 | 項目 | 事業名 | 事業概要 | 事業の実施状況(R05.3月末) | | | 課題と今後の取組 | | | | 決算額 (千円) | 担当課 | 再掲 | |
|----|----|------------------------------------|--|--|--|------------------------|--|------------------------|------------------------|------------------------|-------------|-----------|----|----|
| | | | | 指標 | 達成度% | | | 達成度% | | | | | | |
| | | | | | 令和4年度の 実績値 (目標値) | 令和5年度の 実績値 (目標値) | 令和6年度の 実績値 (目標値) | 令和7年度の 実績値 (目標値) | 令和8年度の 実績値 (目標値) | 最終目標値 【事業の 最終年度】 | | | | 備考 |
| 18 | | 環境こだわり農産物 流通拡大事業 | 環境こだわり農産物の有利 販売・流通拡大を目指し、 「環境こだわり米コシヒカリ」 の集荷・流通促進や高 付加価値販売のための取組 等に対して支援する。 | ○環境こだわり米コシヒカリ、みずかがみの統一 プロモーション ・環境こだわり米の「コシヒカリ」が慣行米と仕 分けされずに出荷されているという課題に対応す るため、県で統一デザイン米袋を作成し、活用を 推進したところ、環境こだわり米として出荷され る割合は57.3%（令和3年度）まで上昇した。 ○環境こだわり野菜高付加価値販売プロジェクト ・重点推進品目の共通PR手法を検討しデジタル POPを活用した販売店舗での産地紹介を実施 | | | 市場においては環境こだわり農産物が慣行栽培と同 程度の価格で取り扱われる事例が多く、認知度が 45.7%（平成30年度）と低いなどの課題がある。 今後は「環境こだわり農産物等流通・販売強化事 業」において、学校給食の提供時等、食育を通じて 環境こだわり農業への理解を醸成し、環境こだわり 農産物等の高付加価値化・認知度向上につながる取 組を支援する。 | | | | 261 | みらいの農業振興課 | - | |
| | | | | 環境こだわり米 コシヒカリの作 付面積 | 73% 4,390 ha (R4年度 環境 こだわり米コ シヒカリの作 付面積 6,000ha以上) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - 【-】 | | | | |
| 19 | | つなげる！応援店 「滋賀の食材」県外 プロモーション事業 | 首都圏や京阪神において、 ホテル・飲食店等と県内生 産者等との継続的な関係構 築をめざし、滋賀食材の認 知度向上、消費拡大を図 る。 | ○首都圏プロモーション ・メニューフェアの実施 8/2～3/20を実施期間として、東京の27店舗にて 店舗ごとに期間を設定し実施。食材は近江牛、近 江米、近江鴨、ピワマス、近江の茶、野菜、果樹 など ○京阪神プロモーション ・メニューフェアの実施 8月および2月に京阪神の計15店舗にて実施。食 材は、比叡ゆば、近江米、近江鴨、近江の茶、野 菜など ○販路開拓活動支援（補助金） ・県内10事業者が首都圏で県内農畜水産物のPR を実施 | | | 飲食店と生産者の継続的な関係構築については、産 地訪問等により一定効果が見込まれているが、今後 より一層滋賀食材の認知度向上、消費拡大を図るた めに、どのような事業展開をしていくか検討する必 要がある。 | | | | 11,809 | みらいの農業振興課 | - | |
| | | | | 首都圏における 「おいしがうれ しが」キャン ペーン推進店登 録件数 | 100% 120店舗 (120店舗) | - (125店舗) | - (130店舗) | - (135店舗) | - (140店舗) | - 【(140店舗)】 | | | | |

令和4年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

| 通番 | 項目 | 事業名 | 事業概要 | 事業の実施状況(R05.3月末) | | | | 課題と今後の取組 | | | | 決算額 (千円) | 担当課 | 再掲 | | |
|----|----|--------------------------------|--|--|--|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|--|-------------|-----|----|------------------------|----|
| | | | | 指標 | 達成度% | | | 令和7年度の 実績値 (目標値) | 達成度% | | | | | | 最終目標値 【事業の 最終年度】 | 備考 |
| | | | | | 令和4年度の 実績値 (目標値) | 令和5年度の 実績値 (目標値) | 令和6年度の 実績値 (目標値) | | 令和8年度の 実績値 (目標値) | 令和9年度の 実績値 (目標値) | | | | | | |
| 20 | | 創 食べて健康「滋賀の野菜」消費拡大事業 | 民間事業者等と連携して、県産野菜等の新しい食べ方提案や食べられる店舗の見える化を図り、消費者の日常生活の多様な場面（内食、中食、外食）で県産野菜等の魅力を感じられる機会を創出し、その消費拡大を図る。 | ○「滋賀めし」メニューコンテストの開催（応募数64件） ○県産野菜を使用したメニューフェアの開催（11～12月、県内37事業者参加） ○野菜摂取量測定会の開催（8回、のべ632人参加） ○クックパッドレシピ掲載（94レシピ） ○民間企業との連携 平和堂で惣菜提供（びわこの日）、カゴメ（「滋賀めし」メニューコンテスト）など | ○「内食」「中食」「外食」と様々なシーンで消費者の野菜の摂取量増に対する意識・行動変容を促すため、引き続きメニューフェアや野菜摂取量測定会等を通じて県産野菜の消費拡大を推進する。 | (再掲) | みらいの農業振興課 | 6 | | | | | | | | |
| | | | | 95.0% | 57事業者 (60事業者) | (65事業者) | () | () | () | 65事業者 【R05年度】 | | | | | | |
| 21 | | オーガニック近江米等産地育成事業 | オーガニック米の生産拡大を図るため、関係団体と連携し、収量・品質の安定化に向けた栽培技術の普及を図るとともに、まとまった需要が見込める首都圏等で、統一デザインを用いた「オーガニック近江米」等の販路開拓を進める。さらに、オーガニック農業の産地づくりの推進を図る。 | ○生産拡大事業 ・有機農業を進める人材を育成するとともに、乗用型水田除草機の導入、有機JAS認証取得を支援。 ○オーガニック近江米販路開拓事業 ・推進検討会議の設置や展示会等への出展から得られた課題等を踏まえ、販売戦略等今後の方向性を検討。首都圏や関西圏を中心にPR活動を展開。 ○オーガニック農業の産地づくり推進 ・甲賀市において、有機農業実施計画が策定され、オーガニックビレッジ宣言が行われた。 | 「オーガニック近江米」については、首都圏等での展示会への出展等による情報発信により、消費者・実需者の方々に興味を持っていただいているものの、それに見合った生産量が確保できていないなどの課題があることから、関係者と連携・調整しつつ、引き続き販路開拓・流通拡大および生産拡大を進める。 | 11, 152 | みらいの農業振興課 | - | | | | | | | | |
| | | | | 96.2% | 288.7 (300ha) | () | () | () | (400ha) | 400ha 【R8年度】 | | | | | | |
| 22 | | 創 みんなで築く「おいしいオーガニック茶」産地育成事業 | 海外への市場開拓を進めるとともに、消費者の安全・安心志向に応え、ブランド力を持った「近江の茶」産地の育成を図るため、高品質なオーガニック栽培による茶生産の取組を支援する。 | ○高品質有機栽培技術の確立（茶業指導所） ○有機栽培茶の高品質生産の実証（補助金） ○有機栽培茶の製茶体制構築に向けた支援（補助金） | ○輸出向け生産量は、56.3tあり、生産量は増加している。 ○特色のあるオーガニック茶の商品開発を進める | 2,979 | みらいの農業振興課 | 40 63 | | | | | | | | |
| | | | | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - 【-】 | | | | | | | |

令和4年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

| 通番 | 項目 | 事業名 | 事業概要 | 事業の実施状況(R05.3月末) | | | 課題と今後の取組 | | | | 決算額 (千円) | 担当課 | 再掲 | |
|----------------------------------|----|--|--|---|---|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|-------------|-----|----|----|
| | | | | 指標 | 達成度% | | | 達成度% | | | | | | |
| | | | | | 令和4年度の 実績値 (目標値) | 令和5年度の 実績値 (目標値) | 令和6年度の 実績値 (目標値) | 令和7年度の 実績値 (目標値) | 令和8年度の 実績値 (目標値) | 最終目標値 【事業の 最終年度】 | | | | 備考 |
| 23 | | しがの力強い水田農業確立推進事業 | 農業所得の最大化に向け、近江米振興協会や各産地が実施する需要の変化に対応する米づくりや自給率の向上が求められる麦・大豆の本作化等の取組を支援するとともに、新たな需要を切り拓くための新品種の育成等を加速する。 | <p>○近江米のブランド力向上を目的とした「特Aプロジェクト」等の取組を支援した（補助金）。両品種とも「A」評価であった。</p> <p>○各産地が実施する需要の変化に対応する米づくりや麦・大豆等の生産、流通・販売の取組を支援した（補助金）。（7JA）</p> <p>○水稻（酒米等）の新品種の育成を加速化（農業技術振興センター）</p> | <p>・不作となると、米の販売数量が確保できず需要実績が低下することから、需要の維持向上とともに、安定した生産を確保する必要がある。</p> <p>・このため、関係団体等との連携のもと、令和5年産米において、食味ランキングで「コシヒカリ」「みずかがみ」の「特A」取得をはじめ、気候変動に対応した栽培管理を徹底し、安定した生産と供給に向けた取組を強化する。</p> | 137,196 | みらいの農業振興課 | - | | | | | | |
| | | | | 99% | | | | | | | | | | |
| | | | 全国の主食用米需要量に占める近江米のシェア | 2.14 (2.16%) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - 【-】 | | | | | |
| 24 | | 新 創 みらいにつなぐ近江米新品種プロジェクト | オーガニック栽培等を見据えた水稻新品種の育成・現地実証およびマーケットインを意識した新たな流通対策の検討を行う。 | <p>○消費者・生産者が喜び、環境に配慮した生産が可能な品種を育成した。（品種名：きらみずき）</p> <p>○意欲ある農家と連携した現地での実証栽培（6カ所）</p> <p>○マーケットインを意識した新たな販売戦略等の検討・作成</p> | <p>○令和5年産（55ha）の生産安定を図る。</p> <p>○令和6年産の作付面積の拡大を図る。</p> <p>○販売戦略に基づき消費者へのPRや店頭でのハイ倍促進を図る。</p> | 17,703 | みらいの農業振興課 | - | | | | | | |
| | | | | - | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - 【-】 | | | | | |
| ウ 近江の地場産業事業者等の海外展開戦略に係る取組支援(5事業) | | | | | | | | | | | | | | |
| 25 | | 海外展開総合支援事業 | 「①友好協定やMOUに基づき築き上げてきた諸外国とのネットワークを活かした経済交流の促進」、「②ジェトロ滋賀等の関係機関と連携した県内企業への総合的な海外展開支援」を組み合わせ、新型コロナ等によるビジネス環境の変化に対応した新しい海外展開事業に取り組む県内企業等を総合的に支援し、海外展開を通じた経営の強靱化や反転攻勢への取組を後押しする。 | <p>○海外視察団受入事業 海外からの視察団を受入れることにより、県内企業への情報提供、情報発信を推進する。</p> <p>○ベトナム等経済交流推進事業 ホーチミン市等で開催される展示会等への参加および政府関係者、キーパーソンの本県への招聘を通じて、県内企業との経済交流を図る。</p> <p>○海外展開連携事業 ジェトロ滋賀貿易情報センターに係る負担金を支出する。</p> | <p>ジェトロの国内外のネットワークを駆使して支援に取組み、県内企業に対して、海外ビジネスの情報を入手できる窓口を提供し、また、海外バイヤーとの商談会等の開催により、具体的な成約案件を創出する。</p> | 17,337 | 商工政策課 | - | | | | | | |
| | | | | 186% | | | | | | | | | | |
| | | | 海外展開成功件数 | 28件 (15件) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - 【-】 | | | | | |

令和4年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

| 通番 | 項目 | 事業名 | 事業概要 | 事業の実施状況(R05.3月末) | | | 課題と今後の取組 | | | | 決算額 (千円) | 担当課 | 再掲 | |
|----|----|--------------------------|--|---|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|-------------|--------|-----------|---------------|
| | | | | 指標 | 達成度% | | | 達成度% | | | | | | |
| | | | | | 令和4年度の 実績値 (目標値) | 令和5年度の 実績値 (目標値) | 令和6年度の 実績値 (目標値) | 令和7年度の 実績値 (目標値) | 令和8年度の 実績値 (目標値) | 最終目標値 【事業の 最終年度】 | | | | 備考 |
| 26 | | 海外展開チャレンジ支援事業 | ジェトロ滋賀貿易情報センター等と連携の上海展開事業にチャレンジする県内企業等を支援し、海外展開を通じた経営の強靱化への取組を後押しする。 | ○①新たな海外販路開拓事業、②新たな海外拠点進出・多角化事業を行う際に、その経費の一部を補助する。 | 120% | | | | | | | 13,238 | 商工政策課 | - |
| | | | | 支援件数 | 12件 (10件) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - 【-】 | | | |
| 27 | | 近江の地域産業振興総合支援事業 | 地場産業組合等が実施する海外の販路開拓、持続的発展に向けた後継者育成や国内での販路拡大等、ブランド力向上を目指した取り組みを支援する。 | ○地域産業総合推進事業 施策推進協議会や地場産業表彰を実施した。 ○地場産業事業者等販路開拓応援事業 デザイナー等の専門家を事業者の元に派遣し、海外に向けたマーケットインでの商品開発や販路開拓をの取組を支援した。 ○地場産業組合等指導支援補助金 滋賀県中小企業団体中央会が地場産業の振興を目的にして行う新事業創出のための啓発活動や指導事業等に対して助成した。 ○地場産業組合等海外展開戦略等支援補助金 国内外の販路開拓や後継者育成に取り組んだ組合に対して助成した。 | 87% | | | | | | | (再掲) | モノづくり振興課 | 4 72 93 |
| | | | | 商品開発や販路開拓に取り組んだ事業者の数 | 13者 (15者) | () | () | () | () | 15者 【R04年度】 | | | | |
| 28 | | 世界に広げる「滋賀の食材」海外プロモーション事業 | 海外における滋賀県産食材・食品の販路拡充・需要拡大を促進する。 | ○アジアや米国等におけるプロモーション等での滋賀県産食材のPR活動 ・台湾の高級デパートにおける滋賀県フェアの開催(11/10～11/23) ・米国のバイヤーによる滋賀県産地訪問(7/11～7/14)の実施 ○県内生産者等が行う海外での販路開拓活動への支援(補助金) ・県内15事業者が海外で県内農畜水産物のPRを実施 | | | | | | | | 12,680 | みらいの農業振興課 | - |
| | | | | | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - 【-】 | | | |

令和4年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

| 通番 | 項目 | 事業名 | 事業概要 | 事業の実施状況(R05.3月末) | | | | 課題と今後の取組 | | | | 決算額 (千円) | 担当課 | 再掲 | | |
|---|----|------------------------|---|--|------------------------|----------------------------------|------------------------|--|------------------------|----------|-----------------------------------|-------------|----------|----------|------------------------|----|
| | | | | 指標 | 達成度% | | | 令和7年度の 実績値 (目標値) | 達成度% | | | | | | 最終目標値 【事業の 最終年度】 | 備考 |
| | | | | | 令和4年度の 実績値 (目標値) | 令和5年度の 実績値 (目標値) | 令和6年度の 実績値 (目標値) | | 令和8年度の 実績値 (目標値) | | | | | | | |
| 29 | | 新 近江の地場産業の新たな展開支援事業 | 時代に適合した取組を推進するため、世界市場で注目されているSDGsを意識した海外展開支援や、賛同者が広がるMLGsと創造手にPRを図る取組を支援する。 | <ul style="list-style-type: none"> 繊維分野およびデザイン分野におけるSDGsについてのセミナーを実施（8月24日、3月20日） 地場産地組合が開催したオンライン工場見学（11月26、27日）において、動画作成やインスタライブの配信について支援を実施。 間伐材の薪を燃料として使用し、陶磁器を焼成する一般参加型イベントへを実施（2月22日） | | | | - | | | | 1,926 | モノづくり振興課 | 32 56 | | |
| | | | | - | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - 【-】 | | | | | | |
| エ 近江の地場産業事業者等に対する技術提供や共同研究、商品開発等の取組支援(12事業) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 30 | | びわ湖材産地証明事業 | びわ湖材産地証明制度の運営および品質認定の取得を支援するとともに、新たな木材利用を普及啓発する。 | ○CLTに関する講演会の開催に協力するとともに、CLTや2×4等のびわ湖材の新たな利用を拡大するため、県外工場の認定促進や情報発信を行った。 ○県産木材活用推進協議会に対し、びわ湖材産地証明制度の運営を支援した。 | | | | ○CLT等の普及促進を図るとともに、びわ湖材の利用拡大をするための研修会を開催。 ○びわ湖材産地証明制度の運営および日本農林規格(JAS)認定の取得を支援。 | | | | 2,996 | 森林政策課 | 43 | | |
| | | | | びわ湖材証明を行った年間木材量 | 96% | 65,700m ³ (68,600) | () | () | () | () | 115,000m ³ 【令和12年度】 | | | | | |
| 31 | | プロジェクトチャレンジ支援事業 | 中小企業が新プロジェクトを立案しチャレンジできる環境を整備することで、新製品や新技術開発を活性化し、開発されたものを事業化へつなげることで、県内経済の向上につなげる。 | ○プロジェクトチャレンジ支援事業費補助金 <ul style="list-style-type: none"> 新商品や新技術開発にかかる必要な調査、研究開発経費の一部を助成 CO2削減につながる技術開発を積極的に採択するCO2ネットゼロ枠を新設 ○フォローアップ支援事業 <ul style="list-style-type: none"> チャレンジ計画等の企画、実施、成果の事業化について各段階に応じた支援。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> 事業化を促進するため、事業終了後も継続的なフォローアップ支援が必要である。 新分野への進出を促進するため、今後成長が見込まれる分野に関する研究開発を積極的に支援する。 | | | | 35,328 | モノづくり振興課 | 55 | | |
| | | | | 中小企業の新製品等開発計画の認定等件数 | 111% | 10件 (9件) | (9件) | (9件) | (10件) | (10件) | - 【-】 | | | | | |

令和4年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

| 通番 | 項目 | 事業名 | 事業概要 | 事業の実施状況(R05.3月末) | | | 課題と今後の取組 | | | | 決算額 (千円) | 担当課 | 再掲 | |
|----|----|------------------------|--|--|------------------------|------------------------|--|------------------------|------------------------|------------------------|-------------|------------|----------|----|
| | | | | 指標 | 達成度% | | | 達成度% | | | | | | |
| | | | | | 令和4年度の 実績値 (目標値) | 令和5年度の 実績値 (目標値) | 令和6年度の 実績値 (目標値) | 令和7年度の 実績値 (目標値) | 令和8年度の 実績値 (目標値) | 最終目標値 【事業の 最終年度】 | | | | 備考 |
| 32 | | ⑨ 近江の地場産業の新たな展開支援事業 | 時代に適合した取組を推進するため、世界市場で注目されているSDGsを意識した海外展開支援や、賛同者が広がるMLGsと創造手にPRを図る取組を支援する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・繊維分野およびデザイン分野におけるSDGsについてのセミナーを実施（8月24日、3月20日） ・地場産地組が開催したオンライン工場見学（11月26、27日）において、動画作成やインスタライブの配信について支援を実施。 ・間伐材の薪を燃料として使用し、陶磁器を焼成する一般参加型イベントへを実施（2月22日） | | | - | | | | (再掲) | モノづくり振興課 | 29 56 | |
| | | | | - | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - 【-】 | | | | |
| 33 | | 創 拡 「近江の地酒」魅力向上支援事業 | 工業技術総合センターの支援の下で県内醸造所共通の課題解決のため香りと旨味と滋賀らしさにこだわった商品開発や、安定・高品質な製品を製造するため新製品開発につながる技術支援を戦略的・短期集中的に実施して「近江の地酒」の技術・品質向上と消費拡大を技術面からサポートする。 | <ul style="list-style-type: none"> ○小規模醸造試験の前に、各種条件を様々に組み合わせ変えたビーカーレベルでの醸造試験と分析・評価（スクリーニング）を実施 ○分析データを元に醸造所が目指す最適条件を獲得し、小規模醸造試験ならびに実地醸造試験へ積極的に活用 | | | 開発した滋賀県オリジナル酵母は、R4の酒造期に9社12製造が行われ、各醸造所から販売がされている。今後は多くの醸造所に滋賀酵母が利用されるように情報提供と技術移転を進め、滋賀に特化した製品作りをサポートする。 | | | | 4,452 | 工業技術総合センター | - | |
| | | | | 新商品数、県開発酵母利用製品数 | 150% 200% | | | | | | | | | |
| 34 | | 窯業技術研究開発事業 | 県内の陶磁器および窯業関連団体の技術支援および産業振興を目的に、新製品および新素材の研究開発を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ○陶磁器デザイン指導事業等により、実施許諾10件、技術移転を3件と技術支援をおこなった。 ○「3D技術を活用した陶製品製造技術に関する研究」において、新技術の開発と産地への支援をおこなった。（技術移転7件、試作品3件） ○「新しい生活様式のための陶製品開発」において4件の試作品を開発した。 | | | ○次年度も、県内の陶磁器および窯業関連団体の技術支援および産業振興を目的に、各研究開発および報告書の作成、研究報告会の実施をおこなう。 | | | | 3,376 | 工業技術総合センター | 57 | |
| | | | | 技術移転（特許出願、実施許諾を含む）、試作品開発、新素材開発件数 | 108% | | | | | | | | | |

令和4年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

| 通番 | 項目 | 事業名 | 事業概要 | 事業の実施状況(R05.3月末) | | | | 課題と今後の取組 | | | | 決算額 (千円) | 担当課 | 再掲 | | |
|----|----|--------------------------|--|--|----------------------------------|------------------------|------------------------|---|------------------------|----------|--|-------------|-------------|----|------------------------|----|
| | | | | 指標 | 達成度% | | | 令和7年度の 実績値 (目標値) | 達成度% | | | | | | 最終目標値 【事業の 最終年度】 | 備考 |
| | | | | | 令和4年度の 実績値 (目標値) | 令和5年度の 実績値 (目標値) | 令和6年度の 実績値 (目標値) | | 令和8年度の 実績値 (目標値) | | | | | | | |
| 35 | | 地域産業育成指導事業 | 窯業関連事業者への技術情報の提供および窯業関連製品や素材の試験および研究を行う。 | ○技術情報誌「陶」編集、「TEIBAN商品開発研究会」「信楽焼屋上緑化研究会」支援、機器開放、技術指導、生産物提供、製品・素材の研究開発を実施。 | | | | 引き続き、技術情報誌「陶」発行、機器開放、技術指導、生産物提供、製品・素材の研究開発を実施。 | | | | 5,064 | 工業技術総合センター | 58 | | |
| | | | | - | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - 【-】 | | | | | | |
| 36 | | 「デジタル技術を活用した陶製品開発人材育成事業」 | 県内陶磁器製造企業へのコロナ後の景気回復と技術支援を目的にデジタル技術を活用した商品開発のための人材育成を実施する。 | ○3Dデータ活用講座開催 (1/13) 参加者10名 ○3DCAD/CAM実習 (3/8) 参加者4名 ○技術指導 25社131人 ○3Dモデルを活用した商品開発数 7件 | | | | 今後、如何に3Dプリンタ等のデジタル機器を活用した技術を実際の製造工程に導入していくかが課題。 | | | | 2,165 | 工業技術総合センター | 59 | | |
| | | | | 育成延べ人数、商品の開発 | 483%、140% 145人、7件 (30人、5件) | () | () | () | () | 【] | | | | | | |
| 37 | | ものづくり技術高度化事業 | 県内製造業で必要となる「ものづくり技術」の高度化を目指した技術開発と高性能・高機能な新規材料を創製し、企業の技術競争力強化、および新分野進出を支援する。 | ○「地域繊維技術を活かした高付加価値繊維製品の開発」 ○「県内産出プラスチック材料の利活用と高付加価値化のための機能制御技術開発」 | | | | 引き続き、地場・地域産業などのモノづくり技術の高度化に向けた研究に取り組む。 | | | | 1,715 | 東北部工業技術センター | 60 | | |
| | | | | 研究テーマ数 | 100% 2テーマ (2テーマ) | - (2テーマ) | - (2テーマ) | - (2テーマ) | - (2テーマ) | - 【-】 | | | | | | |

令和4年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

| 通番 | 項目 | 事業名 | 事業概要 | 事業の実施状況(R05.3月末) | | | 課題と今後の取組 | | | | 決算額 (千円) | 担当課 | 再掲 | |
|----|----|---------------------------|---|--|------------------------|------------------------|---|------------------------|------------------------|------------------------|-------------|-------------|----------|-----|
| | | | | 指標 | 達成度% | | | 達成度% | | | | | | |
| | | | | | 令和4年度の 実績値 (目標値) | 令和5年度の 実績値 (目標値) | 令和6年度の 実績値 (目標値) | 令和7年度の 実績値 (目標値) | 令和8年度の 実績値 (目標値) | 最終目標値 【事業の 最終年度】 | | | | 備考 |
| 38 | | 技術移転・共同研究事業 | 東北部工業技術センターで開発した新技術の研究成果を企業などに移転するとともに、共同研究を実施することで、実用化に必要な種々の条件について検討を加え早期の企業化を目指す。 | ○「シミュレーションによる大口径バルブの流量特性およびキャビテーション性能評価」 ○「鉛フリー銅合金「ピワライト」の産地普及と性能評価に関する研究」 ○「铸造プロセス向け連続測温センサーの開発」 ○「低キャビテーション高性能流体制御バタフライ弁の実用化研究」 | | | 企業訪問や外部の支援機関との連携を行い、研究シーズの発掘、企業ニーズへの対応を図り、共同研究を推進する。 | | | | 1,216 | 東北部工業技術センター | 61 | |
| | | | | 達成度% | 84% | | | | | | | | | |
| | | | | 産学官連携共同研究数 | 21件 (25件) | (25件) | (25件) | (25件) | (25件) | 【】 | | | | 【】 |
| 39 | | 地域産業支援事業 | コロナ危機により大きな影響を受けた地場・地域産業の回復に向けて、従来技術や地域資源を活用しながら、ポストコロナ時代を見据えた製品開発や技術開発の支援を行う。 | ○繊維産業開発支援 ○バルブ産業開発支援 ○ブランド構築支援 ○ICT支援 | | | 技術人材の育成の観点から講習会やセミナーなどをオンラインを活用しながら計画的に実施する。 | | | | 2,525 | 東北部工業技術センター | 62 | |
| | | | | 達成度% | 125% | | | | | | | | | |
| | | | | 講習会等の開催数 | 25回 (20回) | (20回) | (20回) | (20回) | (20回) | 【】 | | | | |
| 40 | 創 | みんなで築く「おいしいオーガニック茶」産地育成事業 | 海外への市場開拓を進めるとともに、消費者の安全・安心志向に応え、ブランド力を持った「近江の茶」産地の育成を図るため、高品質なオーガニック栽培による茶生産の取組を支援する。 | ○高品質有機栽培技術の確立（茶業指導所） ○有機栽培茶の高品質生産の実証（補助金） ○有機栽培茶の製茶体制構築に向けた支援（補助金） | | | ○輸出向け生産量は、56.3tあり、生産量は増加している。 ○特色のあるオーガニック茶の商品開発を進める | | | | (再掲) | みらいの農業振興課 | 22 63 | |
| | | | | 達成度% | - | - | - | - | - | - | | | | - |
| | | | | 指標 | = | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | | | | 【-】 |

令和4年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

| 通番 | 項目 | 事業名 | 事業概要 | 事業の実施状況(R05.3月末) | | | | 課題と今後の取組 | | | | 決算額 (千円) | 担当課 | 再掲 | |
|--|----|--------------------------|---|--|---|------------------------|------------------------|---|------------------------|-----------------------------------|------------------------|-------------|----------|----------|----|
| | | | | 指標 | 達成度% | | | 達成度% | | | 最終目標値 【事業の 最終年度】 | | | | 備考 |
| | | | | | 令和4年度の 実績値 (目標値) | 令和5年度の 実績値 (目標値) | 令和6年度の 実績値 (目標値) | 令和7年度の 実績値 (目標値) | 令和8年度の 実績値 (目標値) | | | | | | |
| 41 | | 水産物流通促進対策事業 | 滋賀県水産加工業協同組合が実施する湖魚の普及宣伝活動に対して支援する。 | ○滋賀県水産加工業協同組合が行う琵琶湖の魚介類の普及宣伝活動に対して支援を行った。主な活動として滋賀県水産物加工品品評会の開催や、びわ湖マラソンの物販ブースに出展した。 | | | | 【課題】 琵琶湖の魚介類のおいしさを広く周知するとともに、イメージ向上とその定着を図るため、継続的な取組が必要。 【今後の取組】 ・滋賀県水産物加工品品評会の継続的な開催 ・琵琶湖の魚介類のPR及び情報発信 | | | | (再掲) | 水産課 | 11 46 | |
| | | | | - | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - 【-】 | | | | | |
| オ 情報発信ツールやインターネット等を活用した産地情報や産品情報のPR(6事業) | | | | | | | | | | | | | | | |
| 42 | | 創 滋賀の匠クラウドファンディング支援事業 | クラウドファンディングを活用した新規顧客の獲得や販売拡大等を目指す伝統的工芸品等事業者への支援をおこなう。 | クラウドファンディングの活用を希望する県および国指定の伝統的工芸品の事業者等が、既存商品の周知・販路拡大・伝統の継続のためのクラウドファンディング活用についての支援を3者に対して行った。 ○参画事業者 ・片山木工所(ろくろ工芸品) ・株式会社藤陶(信楽焼) ・山西聖經(近江上布) | | | | 目標達成には至らなかったが、新規顧客への発信、新商品開発への支援になり、参加事業者の事業展開、販路促進につながった。 | | | | 908 | モノづくり振興課 | - | |
| | | | | クラウドファンディングの目標を達成した事業者の割合 | 66.7% (100%) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - 【-】 | | | | | |
| 43 | | びわ湖材産地証明事業 | びわ湖材産地証明制度の運営および品質認定の取得を支援するとともに、新たな木材利用を普及啓発する。 | ○CLTに関する講演会の開催に協力するとともに、CLTや2×4等のびわ湖材の新たな利用を拡大するため、県外工場の認定促進や情報発信を行った。 ○県産木材活用推進協議会に対し、びわ湖材産地証明制度の運営を支援した。 | | | | ○CLT等の普及促進を図るとともに、びわ湖材の利用拡大するための研修会を開催。 ○びわ湖材産地証明制度の運営および日本農林規格(JAS)認定の取得を支援。 | | | | (再掲) | 森林政策課 | 30 | |
| | | | | びわ湖材証明を行った年間木材量 | 96% 65,700m ³ (68,600) | () | () | () | () | 115,000m ³ 【令和12年度】 | | | | | |

令和4年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

| 通番 | 項目 | 事業名 | 事業概要 | 事業の実施状況(R05.3月末) | | | | 課題と今後の取組 | | | | 決算額 (千円) | 担当課 | 再掲 | | |
|----|-----|-------------------|--|---|----------------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|-----------------------------------|--|-------------|----------|----------|------------------------|----|
| | | | | 指標 | 達成度% | | | 令和7年度の 実績値 (目標値) | 達成度% | | | | | | 最終目標値 【事業の 最終年度】 | 備考 |
| | | | | | 令和4年度の 実績値 (目標値) | 令和5年度の 実績値 (目標値) | 令和6年度の 実績値 (目標値) | | 令和8年度の 実績値 (目標値) | | | | | | | |
| 44 | | 木育推進事業 | 木製玩具等の木育製品の活用を通じて木の良さや利用の意義を学んでもらい、暮らしの中で木を使い親しみ環境づくりを啓発することを通じて、びわ湖材の利用拡大を進める。 | ○木に触れ、親んでもらう場を提供するため、普及啓発イベントを実施した。 ○保育施設等に木育製品を貸し出すことで、コロナ禍においても安心して木に触れる機会を提供した。 ○木育への理解を深めるための講座を行い、木育に必要な知識や体験の習得を行い、木の魅力を伝える人材の育成を行った。 | 96% | | | | | | | 8,049 | 森林政策課 | - | | |
| | | | | びわ湖材証明を行った年間木材量 | 65,700m ³ (68,600) | () | () | () | () | 115,000m ³ 【令和12年度】 | | | | | | |
| 45 | | 伝統的工芸品産業振興事業 | 伝統的工芸品産業の振興を図るため、指定産地の調査や伝統的工芸品紹介冊子を制作する。 | 伝統的工芸品に関するパンフレットの増刷を行った。 | | | | | | | | 174 | モノづくり振興課 | - | | |
| | | | | - | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - 【-】 | | | | | | |
| 46 | | 水産物流通促進対策事業 | 滋賀県水産加工業協同組合が実施する湖魚の普及宣伝活動に対して支援する。 | ○滋賀県水産加工業協同組合が行う琵琶湖の魚介類の普及宣伝活動に対して支援を行った。主な活動として滋賀県水産物加工品品評会の開催や「びわ湖マラソン」の物販ブースに出展した。 | | | | | | | | (再掲) | 水産課 | 11 41 | | |
| | | | | - | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - 【-】 | | | | | | |
| 47 | 創 拡 | しがの漁業魅力発信スキルアップ事業 | 今後の高齢化による琵琶湖漁業の構造変化を見据え、担い手の販売スキル向上のための意識醸成、学びあいの場を提供するとともに、就業希望者の受け入れ態勢の充実、湖魚取扱い情報の発信を図る。 | ○意欲ある担い手を対象に所得向上に向けた研修会等を実施する。 ○漁業への就業相談、短期の体験研修、半年間程度の漁労技術等の研修を実施する。 ○琵琶湖八珍等のびわ湖のめぐみに関する情報を発信する。 | 100% | | | | | | | 13,809 | 水産課 | 70 78 | | |
| | | | | びわ湖産魚介類を活用する事業者数 | 260件 (260件) | (270件) | (280件) | (300件) | (-) | 300件 【R07年度】 | | | | | | |

令和4年度 近江の地場産業および近江の地場製品の振興に関する施策の実施状況一覧

【資料1別冊】

| 通番 | 項目 | 事業名 | 事業概要 | 事業の実施状況(R05.3月末) | | | | | 課題と今後の取組 | | | 決算額 (千円) | 担当課 | 再掲 |
|---|---------------------|---|--|---|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|-----|-------------|-----|----|
| | | | | 指標 | 達成度% | | 令和6年度の 実績値 (目標値) | 令和7年度の 実績値 (目標値) | 令和8年度の 実績値 (目標値) | 最終目標値 【事業の 最終年度】 | 備考 | | | |
| | | | | | 令和4年度の 実績値 (目標値) | 令和5年度の 実績値 (目標値) | | | | | | | | |
| (2) 近江の地場産業事業者等の経営基盤強化のための、経営改善および合理化、資金の供給の円滑化等(7事業) | | | | | | | | | | | | | | |
| ア 近江の地場産業事業者等の経営改善および合理化推進のための支援(5事業) | | | | | | | | | | | | | | |
| 48 | 中小企業経営革新支援事業 | 中小企業の新事業を促進するため、「中小企業等経営強化法」に基づく経営革新計画の承認および外部専門家による指導・助言を行うとともに、商品化、販路開拓等に要する経費の一部を助成する。 | ○経営革新計画承認審査会の開催 ○市場化ステージ支援事業補助金による支援 ○経営革新計画フォローアップ調査の実施 ○経営革新計画制度周知パンフレットの作成 | 引き続き、施策周知や申請補助などの事業者支援を行う。 | | | 12,292 | 中小企業支援課 | - | | | | | |
| | | | 「市場化ステージ支援事業補助金企業化状況調査」による企業化率 | 129% | | | | | | | | | 【】 | |
| 49 | 滋賀の魅力活用型ちいさな企業応援補助金 | 県内中小企業のうち9割近くを占める小規模事業者が策定する滋賀の魅力(しがの資源)を活用した新たな取組に関する計画に従って実施する事業のうち、事業化・市場化段階にある事業について経費の一部を助成する。 | ○滋賀の魅力(資源)を活用する事業に新たに取組もうとする小規模事業者を引き続き支援する。 | 令和5年度は予算を増額し、より多くの滋賀の魅力(資源)を活用する事業に新たに取組もうとする小規模事業者を支援する。 | | | 3,524 | 中小企業支援課 | - | | | | | |
| | | | 新商品市場化または販路開拓が進んだと感じた事業者の割合 | 125% | 100% | (80%) | | | | () | () | () | () | 【】 |
| 50 | 小規模事業経営支援事業費補助金 | 商工会、商工会議所および商工会連合会が小規模事業者のために行う経営改善普及事業等に要する経費に対して助成する。 | ○商工会、商工会議所および滋賀県商工会連合会の経営指導員等の人件費およびその活動費等を補助 | 引き続き、県内の商工会、商工会議所の体制強化のために補助を行う。 | | | 1,417,121 | 中小企業支援課 | - | | | | | |
| | | | 経営発達支援計画に掲げる売上増加事業者数目標を達成した商工会・商工会議所の割合 | 81% | 61% | (75%) | | | | () | () | () | () | 【】 |

令和4年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策の実施状況一覧

【資料1別冊】

| 通番 | 項目 | 事業名 | 事業概要 | 事業の実施状況(R05.3月末) | | | | 課題と今後の取組 | | | | 決算額 (千円) | 担当課 | 再掲 | |
|---|----|------------------|--|---|------------------------|------------------------|------------------------|---|------------------------|------------------------|-----|-------------|----------|----|-----|
| | | | | 指標 | 達成度% | | | 令和7年度の 実績値 (目標値) | 達成度% | | | | | | 備考 |
| | | | | | 令和4年度の 実績値 (目標値) | 令和5年度の 実績値 (目標値) | 令和6年度の 実績値 (目標値) | | 令和8年度の 実績値 (目標値) | 最終目標値 【事業の 最終年度】 | | | | | |
| 51 | | 中小企業連携組織対策事業費補助金 | 滋賀県中小企業団体中央会が中小企業の組織化、育成および指導のために行う事業に要する経費に対し助成する。 | ○中小企業団体中央会の指導員等の人件費およびその活動費等を補助 | | | | 引き続き中小企業団体中央会の指導員等の人件費およびその活動費等を補助する。 | | | | 98,862 | 中小企業支援課 | - | |
| | | | | 中央会の指導対応が、「課題解決に繋がった」とする割合90%以上を獲得する。 | 111% | 100% | (90%) | () | () | () | () | | | | 【] |
| 52 | 補 | 地場産業設備整備支援補助事業 | 新型コロナウイルスおよび原油価格・物価の高騰の影響を受けた県内の地場産業事業者に対し、生産体制の強化および新事業の創出のために必要な経費について助成を行う。 | 県内の地場産業組合、地場産業事業者および伝統的工芸品の製造事業者が所有する生産設備の更新、新設または増設にかかる経費の一部を補助。13件採択。 | | | | 引き続き、地場産業事業者等が新たな取り組みを行う際に必要な生産設備の導入に係る費用について助成する。 | | | | 59,980 | モノづくり振興課 | - | |
| | | | | - | - | - | - | - | - | - | - | | | | 【-] |
| イ 近江の地場産業事業者等に対する、金融機関と協調した長期・低利の融資の活用促進(2事業) | | | | | | | | | | | | | | | |
| 53 | | 中小企業振興資金貸付金 | 中小企業者の経営安定等を図るため、制度融資を実施する。 | ○中小企業者の経営安定等を図るため、制度融資を実施した。(令和4年度新規貸付：1,906件) | | | | 中小企業者の様々な資金需要に対応できるよう、制度改正を行う。 | | | | 26,139,000 | 中小企業支援課 | - | |
| | | | | - | - | - | - | - | - | - | - | | | | 【-] |
| 54 | | 水産振興資金融資基金預託金 | 漁業経営の近代化、経営の安定および合理化等に必要な資金の融資を行う。 | ○随時、申請に応じて融資を行う。 | | | | ○漁業者等に対し長期かつ低利で融資することにより、資本整備の高度化や経営の近代化・安定化を促進し、県内水産業の振興につなげる。 | | | | 28,416 | 水産課 | - | |
| | | | | - | - | - | - | - | - | - | - | | | | 【-] |

令和4年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策の実施状況一覧

【資料1別冊】

| 通番 | 項目 | 事業名 | 事業概要 | 事業の実施状況 (R05.3月末) | | | | 課題と今後の取組 | | | | 決算額 (千円) | 担当課 | 再掲 | |
|--|----|------------------------|--|---|--|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|----------|-------------|----------|----|----|
| | | | | 指標 | 達成度% | | | 令和7年度の 実績値 (目標値) | 達成度% | | | | | | 備考 |
| | | | | | 令和4年度の 実績値 (目標値) | 令和5年度の 実績値 (目標値) | 令和6年度の 実績値 (目標値) | | 令和8年度の 実績値 (目標値) | 最終目標値 【事業の 最終年度】 | | | | | |
| (3)新商品開発等に係る調査研究、多様な分野における事業展開の促進(12事業) | | | | | | | | | | | | | | | |
| ア 公設試験研究機関を中心として、高度化、多様化するニーズに対応した新商品開発のための調査研究の推進(11事業) | | | | | | | | | | | | | | | |
| 55 | | プロジェクトチャレンジ支援事業 | 中小企業が新プロジェクトを立案しチャレンジできる環境を整備することで、新製品や新技術開発を活発化し、開発されたものを事業化へつなげることによって、県内経済の向上につなげる。 | ○プロジェクトチャレンジ支援事業費補助金 ・新商品や新技術開発にかかる必要な調査、研究開発経費の一部を助成 ・CO2削減につながる技術開発を積極的に採択するCO2ネットゼロ枠を新設 ○フォローアップ支援事業 ・チャレンジ計画等の企画、実施、成果の事業化について各段階に応じた支援。 | ・事業化を促進するため、事業終了後も継続的なフォローアップ支援が必要である。 ・新分野への進出を促進するため、今後成長が見込まれる分野に関する研究開発を積極的に支援する。 | | | | (再掲) | モノづくり振興課 | 31 | | | | |
| | | | | 中小企業の新製品等開発計画の認定等件数 | 111% 10件 (9件) | (9件) | (9件) | (10件) | | | | (10件) | - 【-】 | | |
| 56 | | ① 近江の地場産業の新たな展開支援事業 | 時代に適合した取組を推進するため、世界市場で注目されているSDGsを意識した海外展開支援や、賛同者が広がるMLGsと創造手にPRを図る取組を支援する。 | ・繊維分野およびデザイン分野におけるSDGsについてのセミナーを実施(8月24日、3月20日) ・地場産地組合が開催したオンライン工場見学(11月26、27日)において、動画作成やインスタライブの配信について支援を実施。 ・間伐材の薪を燃料として使用し、陶磁器を焼成する一般参加型イベントへを実施(2月22日) | - | | | | (再掲) | モノづくり振興課 | 29 32 | | | | |
| | | | | - | (-) | (-) | (-) | (-) | | | | (-) | - 【-】 | | |

令和4年度 近江の地場産業および近江の地場製品の振興に関する施策の実施状況一覧

【資料1別冊】

| 通番 | 項目 | 事業名 | 事業概要 | 事業の実施状況 (R05.3月末) | | | 課題と今後の取組 | | | | 決算額 (千円) | 担当課 | 再掲 | |
|----|----|--------------------------|--|---|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|-------------|------------|----|----|
| | | | | 指標 | 達成度% | | | 令和7年度の 実績値 (目標値) | 令和8年度の 実績値 (目標値) | 最終目標値 【事業の 最終年度】 | | | | 備考 |
| | | | | | 令和4年度の 実績値 (目標値) | 令和5年度の 実績値 (目標値) | 令和6年度の 実績値 (目標値) | | | | | | | |
| 57 | | 窯業技術研究開発事業 | 県内の陶磁器および窯業関連団体の技術支援および産業振興を目的に、新製品および新素材の研究開発を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ○陶磁器デザイン指導事業等により、実施許諾10件、技術移転を3件と技術支援をおこなった。 ○「3D技術を活用した陶製品製造技術に関する研究」において、新技術の開発と産地への支援をおこなった。(技術移転7件、試作品3件) ○「新しい生活様式のための陶製品開発」において4件の試作品を開発した。 | 108% | | | | | | (再掲) | 工業技術総合センター | 34 | |
| | | | | 技術移転(特許出願、実施許諾を含む)、試作品開発、新素材開発件数 | 27件 (25件) | () | () | () | () | 【】 | | | | |
| 58 | | 地域産業育成指導事業 | 窯業関連事業者への技術情報の提供および窯業関連製品や素材の試験および研究を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ○技術情報誌「陶」編集、「TEIBAN商品開発研究会」「信楽焼屋上緑化研究会」支援、機器開放、技術指導、生産物提供、製品・素材の研究開発を実施。 | | | | | | | (再掲) | 工業技術総合センター | 35 | |
| | | | | - | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - 【-】 | | | | |
| 59 | | 「デジタル技術を活用した陶製品開発人材育成事業」 | 県内陶磁器製造企業へのコロナ後の景気回復と技術支援を目的にデジタル技術を活用した商品開発のための人材育成を実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○3Dデータ活用講座開催 (1/13) 参加者10名 ○3DCADCAM実習 (3/8) 参加者4名 ○技術指導 25社131人 ○3Dモデルを活用した商品開発数 7件 | 483%、140% | | | | | | (再掲) | 工業技術総合センター | 36 | |
| | | | | 育成延べ人数、商品の開発 | 145人、7件 (30人、5件) | () | () | () | () | 【】 | | | | |

令和4年度 近江の地場産業および近江の地場製品の振興に関する施策の実施状況一覧

【資料1別冊】

| 通番 | 項目 | 事業名 | 事業概要 | 事業の実施状況 (R05.3月末) | | | | 課題と今後の取組 | | | | 決算額 (千円) | 担当課 | 再掲 | |
|----|----|--------------|--|--|------------------------|------------------------|------------------------|--|------------------------|------------------------|---|-------------|-------------|----|----|
| | | | | 指標 | 達成度% | | | 令和7年度の 実績値 (目標値) | 達成度% | | | | | | 備考 |
| | | | | | 令和4年度の 実績値 (目標値) | 令和5年度の 実績値 (目標値) | 令和6年度の 実績値 (目標値) | | 令和8年度の 実績値 (目標値) | 最終目標値 【事業の 最終年度】 | | | | | |
| 60 | | ものづくり技術高度化事業 | 県内製造業で必要となる「ものづくり技術」の高度化を目指した技術開発と高性能・高機能な新規材料を創製し、企業の技術競争力強化、および新分野進出を支援する。 | ○「地域繊維技術を活かした高付加価値繊維製品の開発」 ○「県内産出プラスチック材料の利活用と高付加価値化のための機能制御技術開発」 | | | | 引き続き、地場・地域産業などのモノづくり技術の高度化に向けた研究に取り組む。 | | | | (再掲) | 東北部工業技術センター | 37 | |
| | | | | 研究テーマ数 | 100% | - | - | - | - | - | - | | | | |
| 61 | | 技術移転・共同研究事業 | 東北部工業技術センターで開発した新技術の研究成果を企業などに移転するとともに、共同研究を実施することで、実用化に必要な種々の条件について検討を加え早期の企業化を目指す。 | ○「シミュレーションによる大口径バルブの流量特性およびキャビテーション性能評価」 ○「鉛フリー銅合金「ピワライト」の産地普及と性能評価に関する研究」 ○「鋳造プロセス向け連続測温センサーの開発」 ○「低キャビテーション高性能流体制御バタフライ弁の実用化研究」 | | | | 企業訪問や外部の支援機関との連携を行い、研究シーズの発掘、企業ニーズへの対応を図り、共同研究を推進する。 | | | | (再掲) | 東北部工業技術センター | 38 | |
| | | | | 産学官連携共同研究数 | 84% | | | | | | | | | | |
| | | | | 技術普及件数 | 183% | | | | | | | | | | |
| 62 | | 地域産業支援事業 | コロナ危機により大きな影響を受けた地場・地域産業の回復に向けて、従来技術や地域資源を活用しながら、ポストコロナ時代を見据えた製品開発や技術開発の支援を行う。 | ○繊維産業開発支援 ○バルブ産業開発支援 ○ブランド構築支援 ○ICT支援 | | | | 技術人材の育成の観点から講習会やセミナーなどをオンラインを活用しながら計画的に実施する。 | | | | (再掲) | 東北部工業技術センター | 39 | |
| | | | | 講習会等の開催数 | 125% | | | | | | | | | | |

令和4年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策の実施状況一覧

【資料1別冊】

| 通番 | 項目 | 事業名 | 事業概要 | 事業の実施状況 (R05.3月末) | | | | 課題と今後の取組 | | | | 決算額 (千円) | 担当課 | 再掲 | | |
|--|----|--------------------------------|---|--|------------------------|------------------------|------------------------|---|------------------------|------------------------|-----|-------------|-----------|----------|----|--|
| | | | | 指標 | 達成度% | | | 令和7年度の 実績値 (目標値) | 達成度% | | | | | | 備考 | |
| | | | | | 令和4年度の 実績値 (目標値) | 令和5年度の 実績値 (目標値) | 令和6年度の 実績値 (目標値) | | 令和8年度の 実績値 (目標値) | 最終目標値 【事業の 最終年度】 | | | | | | |
| 63 | | 創 みんなで築く「おいしいオーガニック茶」産地育成事業 | 海外への市場開拓を進めるとともに、消費者の安全・安心志向に応え、ブランド力を持った「近江の茶」産地の育成を図るため、高品質なオーガニック栽培による茶生産の取組を支援する。 | ○高品質有機栽培技術の確立（茶業指導所） ○有機栽培茶の高品質生産の実証（補助金） ○有機栽培茶の製茶体制構築に向けた支援（補助金） | | | | ○輸出向け生産量は、56.3 tあり、生産量は増加している。 ○特色のあるオーガニック茶の商品開発を進める | | | | (再掲) | みらいの農業振興課 | 22 40 | | |
| | | | | - | - | - | - | - | - | - | - | | | | | |
| | | | | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | 【-】 | | | | | | |
| 64 | | 高品質近江牛づくり推進事業 | 畜産技術振興センターで生産した高品質の雌子牛を農家へ譲渡するため、育成牧場での優良繁殖雌牛の整備と効率的な改良を図る。 | ○育成牧場での優良繁殖雌牛の整備および効率的な改良を図るとともに、生産した雌子牛を農家に譲渡 | | | | ○優良な和牛子牛の県内生産を図るため、引き続き農家への高品質繁殖雌牛の譲渡を実施 | | | | 44,644 | 畜産課 | - | | |
| | | | | - | - | - | - | - | - | - | - | | | | | |
| | | | | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | 【-】 | | | | | | |
| 65 | | 家畜の改良増殖と優良種畜の譲渡事業 | 近江しゃもの種卵を生産者へ供給する。 | ○地場産品に位置づけられている「近江しゃも」の種卵を供給 | | | | ○地場産品の「近江しゃも」の安定生産を図るため、引き続き種卵の供給を行う | | | | 4,841 | 畜産課 | - | | |
| | | | | - | - | - | - | - | - | - | - | | | | | |
| | | | | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | 【-】 | | | | | | |
| イ 新ビジネスの創造に向けた異分野・異業種の連携による商品開発等の促進(2事業) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 66 | | 新創 オープンイノベーション推進事業 | 様々な技術シーズを有する事業者等から成る“出会いの場（フォーラム）”を形成し、企業間マッチングを推進する機会の提供やコーディネーターによる伴走支援を通じ、新事業創出と県内中小企業の競争力強化を図る。 | ○異業種交流会や座談会、研究会等の開催 ○フォーラム内の企業マッチングを促進するコーディネーターの設置 ○技術展示会での開発成果の発信強化等による販路獲得の支援 | | | | ○外部資金獲得につながる案件の大半が、コーディネーターによるマッチングによるものであり、オープンイノベーションによるマッチング案件が少ない。 ○具体的な企業間マッチングにつながる内で事業を進め、企業間マッチング成立を目指す。 | | | | 24,692 | モノづくり振興課 | - | | |
| | | | | 113% | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 過去5年間に、外部資金を活用した開発等を実施した企業のうち、事業化した割合 | 56.30% | (50%) | (50%) | (50%) | (-) | (-) | 【-】 | | | | | |

令和4年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策の実施状況一覧

【資料1別冊】

| 通番 | 項目 | 事業名 | 事業概要 | 事業の実施状況 (R05.3月末) | | | | 課題と今後の取組 | | | | 決算額 (千円) | 担当課 | 再掲 | |
|----|----|--------------------------------------|---|---|--------------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|--------------------------------|------------------------|-----------------|-------------|-----------|-------|---|
| | | | | 指標 | 達成度% 令和4年度の 実績値 (目標値) | 令和5年度の 実績値 (目標値) | 令和6年度の 実績値 (目標値) | 令和7年度の 実績値 (目標値) | 達成度% 令和8年度の 実績値 (目標値) | 最終目標値 【事業の 最終年度】 | 備考 | | | | |
| 67 | | 創 6次産業化サポート事業 | 農山漁村発イノベーションに取り組む農林漁業者等を対象に人材育成のための研修会の開催や専門家派遣による新商品開発、販路開拓などの取組を支援する。また、農林水産業者や商工・観光等事業者、大学等が参画する農林水産業新ビジネス創造研究会を母体とした新ビジネス創造の取組を発掘・支援する。 | ○農山漁村発イノベーションプランナーの派遣 94回 ○農山漁村発のバージョン研修会の開催 5回 (延べ101名参加) ○新ビジネス創造セミナーの開催 2回 (延べ44名参加) ○新ビジネス創造プロジェクト活動の実践 5事業者 | 170% | | | | | | | 9,220 | みらいの農業振興課 | - | |
| | | | 新たな加工・販売等に取り組む実践者数 | 17事業者 (10事業者) | () | () | () | () | | | | | | | |
| | | ウ 地場産品の地域にある資源を活用した観光関連産業との連携促進(1事業) | | | | | | | | | | | | | |
| 68 | | 新創 シガリズムコンテンツ創出事業 | 県内各地の価値ある資源を体験・体感することができる滋賀らしいツーリズムを創出するため、観光素材の掘り起こし、魅力分析等を行い、観光誘客につなげる。 | ○各地域へのコーディネーターの配置、現地調査・素材発掘、素材の分析・磨き上げ、商品化、県内共通販売システムの構築、データ蓄積等 | 104% | | | | | | | | 37,684 | 観光振興局 | - |
| | | | シガリズムコンテンツ創出件数 | 67本 (64本) | () | () | () | () | | | 200本 【令和6年度】 | | | | |

令和4年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策の実施状況一覧

【資料1別冊】

| 通番 | 項目 | 事業名 | 事業概要 | 事業の実施状況(R05.3月末) | | | | 課題と今後の取組 | | | | 決算額 (千円) | 担当課 | 再掲 | | | | | | | | | | | |
|---|----------------|--------------------------|--|---|--|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|----|------------------|----------------|--------|--------|--------|-----|-----------------|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | 指標 | 達成度% | | | 令和7年度の 実績値 (目標値) | 令和8年度の 実績値 (目標値) | 最終目標値 【事業の 最終年度】 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 令和4年度の 実績値 (目標値) | 令和5年度の 実績値 (目標値) | 令和6年度の 実績値 (目標値) | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (4) 担い手となる人材の確保・育成、資質向上に対する支援、優れた技術等の継承の推進等(13事業) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ア 担い手となる人材の確保のための情報提供(3事業) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 69 | | 地域連携型モノづくり人材育成事業 | 本県の窯業業界の振興を図るため、窯業技術者養成のための専門研修を実施する。 | ○小物ロクロ成形科7名、素地釉薬科1名、デザイン科2名の計10名の研修生を受け入れた。 | 引き続き、窯業技術者養成のための専門研修と次年度研修生の選考試験(秋試験、冬試験)を実施。 | 990 | 工業技術総合センター | 73 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | <table border="1"> <tr> <td>達成度%</td> <td>143%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>窯業技術者養成研修受講者数</td> <td>10名 (7名)</td> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> <td>【】</td> </tr> </table> | 達成度% | 143% | | | | | | 窯業技術者養成研修受講者数 | 10名 (7名) | () | () | () | () | 【】 | | | | | | | |
| 達成度% | 143% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 窯業技術者養成研修受講者数 | 10名 (7名) | () | () | () | () | 【】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 70 | | 創 拡 しがの漁業魅力発信スキルアップ事業 | 今後の高齢化による琵琶湖漁業の構造変化を見据え、担い手の販売スキル向上のための意識醸成、学びあいの場を提供するとともに、就業希望者の受け入れ態勢の充実、湖魚取扱い情報の発信を図る。 | ○意欲ある担い手を対象に所得向上に向けた研修会等を実施する。 ○漁業への就業相談、短期の体験研修、半年間程度の漁労技術等の研修を実施する。 ○琵琶湖八珍等のびわ湖めぐみに関する情報を発信する。 | ○意欲ある担い手を対象に所得向上に向けた研修会等を実施する。 ○漁業への就業相談、短期の体験研修、半年間程度の漁労技術等の研修を実施する。 ○琵琶湖八珍等のびわ湖めぐみに関する情報を発信する。 | (再掲) | 水産課 | 47 78 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | <table border="1"> <tr> <td>達成度%</td> <td>100%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>びわ湖産魚介類を活用する事業者数</td> <td>260件 (260件)</td> <td>(270件)</td> <td>(280件)</td> <td>(300件)</td> <td>(-)</td> <td>300件 【R07年度】</td> </tr> </table> | 達成度% | 100% | | | | | | びわ湖産魚介類を活用する事業者数 | 260件 (260件) | (270件) | (280件) | (300件) | (-) | 300件 【R07年度】 | | | | | | | |
| 達成度% | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| びわ湖産魚介類を活用する事業者数 | 260件 (260件) | (270件) | (280件) | (300件) | (-) | 300件 【R07年度】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 71 | | 製薬技術の向上支援事業 | 製薬等技術者の資質向上を図るための研修等を行う。 | ○製薬等技術者の資質向上を図るため、薬業ビジネスセミナー、薬業eセミナーおよび薬業スキルアップセミナーを開催した。 | ○受講者には、初任者から責任者までレベルに応じた段階的なスキルアップが図れたことから、引き続き事業を継続する。 | 1,559 | 薬務課 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | <table border="1"> <tr> <td>指標</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(-)</td> <td>(-)</td> <td>(-)</td> <td>(-)</td> <td>(-)</td> <td>【-】</td> </tr> </table> | 指標 | - | - | - | - | - | - | | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | 【-】 | | | | | | | |
| 指標 | - | - | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | 【-】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

令和4年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策の実施状況一覧

【資料1別冊】

| 通番 | 項目 | 事業名 | 事業概要 | 事業の実施状況(R05.3月末) | | | | 課題と今後の取組 | | | | 決算額 (千円) | 担当課 | 再掲 |
|---------------------------------|----|------------------------------|---|--|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|--------------------|-------------|------------|---------------|
| | | | | 指標 | 達成度% | | | 令和7年度の 実績値 (目標値) | 令和8年度の 実績値 (目標値) | 最終目標値 【事業の 最終年度】 | 備考 | | | |
| | | | | | 令和4年度の 実績値 (目標値) | 令和5年度の 実績値 (目標値) | 令和6年度の 実績値 (目標値) | | | | | | | |
| イ 後継者育成や技術継承のための取組の実施および支援(8事業) | | | | | | | | | | | | | | |
| 72 | イ | 近江の地域産業振興 総合支援事業 | 地場産業組合等が実施する 海外の販路開拓、持続的発 展に向けた後継者育成や国 内での販路拡大等、ブラン ド力向上を目指した取り組 みを支援する。 | ○地域産業総合推進事業 施策推進協議会や地場産業表彰を実施した。 ○地場産業事業者等販路開拓応援事業 デザイナー等の専門家を事業者の元に派遣し、 海外に向けたマーケットインでの商品開発や販路 開拓をの取組を支援した。 ○地場産業組合等指導支援補助金 滋賀県中小企業団体中央会が地場産業の振興を 目的にして行う新事業創出のための啓発活動や指 導事業等に対して助成した。 ○地場産業組合等海外展開戦略等支援補助金 国内外の販路開拓や後継者育成に取り組んだ組 合に対して助成した。 等 | | | | | | | | (再掲) | モノづくり振興課 | 4 27 93 |
| | | | | 商品開発や販 路開拓に取り 組んだ事業者 の数 | 87% | 13者 (15者) | () | () | () | () | 15者 【R04年 度】 | | | |
| 73 | イ | 地域連携型モノづく り人材育成事業(再 掲) | 本県の窯業業界の振興を図 るため、窯業技術者養成の ための専門研修を実施す る。 | ○小物ロクロ成形科7名、素地釉薬科1名、デザイ ン科2名の計10名の研修生を受け入れた。 | | | | | | | | (再掲) | 工業技術総合センター | 69 |
| | | | | 窯業技術者養 成研修受講者 数 | 143% | 10名 (7名) | () | () | () | () | 【】 | | | |
| 74 | イ | みらいの就農促進・ 定着支援事業 | 就農に向けて、相談から定 着にいたるまでの一貫した 支援体制を整え、次代の優 れた本県産業の担い手の育 成確保を図る。 | ○職業としての農業への関心を高めるため大学生 へ出前講座等を開催した。 ○就農相談活動や就農準備講座の開催、青年農業 者の交流等を支援した。 | | | | | | | | 10,277 | みらいの農業振興課 | - |
| | | | | - | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | 【-】 | | | |

令和4年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策の実施状況一覧

【資料1別冊】

| 通番 | 項目 | 事業名 | 事業概要 | 事業の実施状況(R05.3月末) | | | | 課題と今後の取組 | | | | 決算額 (千円) | 担当課 | 再掲 |
|----|----|--------------------------|---|--|--|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|----|-------------|-----|----|
| | | | | 指標 | 達成度% | | | 令和7年度の 実績値 (目標値) | 令和8年度の 実績値 (目標値) | 最終目標値 【事業の 最終年度】 | 備考 | | | |
| | | | | | 令和4年度の 実績値 (目標値) | 令和5年度の 実績値 (目標値) | 令和6年度の 実績値 (目標値) | | | | | | | |
| 75 | | 未来の養蚕創造プロジェクト事業 | 本県における繭生産に向けた養蚕業の復活および今後の展開の方向性について検討する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○桑栽培、蚕飼育技術の習得、向上支援（補助金） ○養蚕の取組試行に対する支援（補助金） ○将来の可能性の調査検討（県事業） | <ul style="list-style-type: none"> ○安定生産に向け、蚕飼育技術（病害対策）の習得について、引き続き支援を行う。 ○繭などの生産物の新用途の検討などについて引き続き支援を行い、養蚕業の収益性向上をめざす。 | 800 | みらいの農業振興課 | - | | | | | | |
| | | | | 養蚕取組組織数 | 67% | | | | | | | | | |
| | | | | 2組織 (3組織) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - 【-】 | | | | |
| 76 | | 大家畜技術指導事業 | 近江牛生産農家に対して技術指導を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ○定期的な巡回により、繁殖や栄養などの飼養管理の指導を実施 | <ul style="list-style-type: none"> ○近江牛の安定生産を図るため、引き続き、飼養管理に係る技術指導を実施 | 711 | 畜産課 | - | | | | | | |
| | | | | - | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - 【-】 | | | | |
| 77 | | 選ばれる「近江牛」づくりチャレンジ支援事業 | 多様な消費者ニーズを意識した「滋賀県生まれ・滋賀県育ち」の近江牛作りへの支援に加え、アニマルウェルフェア（AW）を意識した生産体系に向けた取組や滋賀らしい生産PRなど、ブランド力の向上を図る取組を推進する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ゲノミック評価を活用した繁殖雌牛改良の取組を支援 ○新たに繁殖経営に取り組む農家への支援 ○AWを意識した飼育など、「滋賀らしい」飼育環境のPRを推進 | <ul style="list-style-type: none"> ○消費者ニーズに対応した次世代高能力繁殖雌牛群整備の早期化を図るためには、最先端技術であるゲノミック検査の活用が有効 ○ブランド力向上を図るため、AW、環境、安全・安心に配慮した三方よしの「近江牛生産」の取組を推進していく | 1,803 | 畜産課 | - | | | | | | |
| | | | | - | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - 【-】 | | | | |
| 78 | | 創 拡 しがの漁業魅力発信スキルアップ事業 | 今後の高齢化による琵琶湖漁業の構造変化を見据え、担い手の販売スキル向上のための意識醸成、学びあいの場を提供するとともに、就業希望者の受け入れ態勢の充実、湖魚取扱い情報の発信を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ○意欲ある担い手を対象に所得向上に向けた研修会等を実施する。 ○漁業への就業相談、短期の体験研修、半年間程度の漁労技術等の研修を実施する。 ○琵琶湖八珍等のびわ湖めぐみに関する情報を発信する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○意欲ある担い手を対象に所得向上に向けた研修会等を実施する。 ○漁業への就業相談、短期の体験研修、半年間程度の漁労技術等の研修を実施する。 ○琵琶湖八珍等のびわ湖めぐみに関する情報を発信する。 | (再掲) | 水産課 | 47 70 | | | | | | |
| | | | | 新規漁業就業者数（研修制度を活用して就業した者） 10人（R3～7の累計） | () | () | () | () | () | 10人 【R07年度】 | | | | |

令和4年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策の実施状況一覧

【資料1別冊】

| 通番 | 項目 | 事業名 | 事業概要 | 事業の実施状況(R05.3月末) | | | | 課題と今後の取組 | | | | 決算額 (千円) | 担当課 | 再掲 |
|---|----|---|---|--|------------------------|------------------------|------------------------|---|------------------------|------------------------|----------------|-------------|----------|----|
| | | | | 指標 | 達成度% | | | 令和7年度の 実績値 (目標値) | 令和8年度の 実績値 (目標値) | 最終目標値 【事業の 最終年度】 | 備考 | | | |
| | | | | | 令和4年度の 実績値 (目標値) | 令和5年度の 実績値 (目標値) | 令和6年度の 実績値 (目標値) | | | | | | | |
| 79 | | 滋賀のくすり振興対策事業 | 経営者等を対象に市場展望と業界の今後の進むべき方向についてのセミナー事業に対して支援する。また、若い人材の育成・確保のための講習会等を開催する。 | ○(一社)滋賀県薬業協会が行うセミナー事業の支援(補助金) ○化学薬学系の大学生等に対して、県内製薬企業の工場見学会および講習会を開催する。 | | | | ○セミナーの開催は、各企業の経営者等にとって今後の経営方針、経営戦略を立てる上で有用であるため、引き続き事業に対する支援が必要である。 ○事業所の現地での見学も含めた講習会等を開催していきたい。 | | | | 179 | 薬務課 | - |
| | | | | - | - | - | - | - | - | - | 【-】 | | | |
| ウ 未来の後継者確保に向けた小中学生や高校生等の地場産業等にふれる機会の提供(1事業) | | | | | | | | | | | | | | |
| 80 | | 世界にひとつの宝物づくり事業 | 陶芸作家やボランティア等との協働により、子どもや障がい者が「土」とふれあい、モノづくりの喜び・感動や本物の芸術を体感できるプログラムを提供することにより、陶芸に理解のある次世代の人材育成を図る。 | ○子どもや障がい者等を対象にした制作体験や展覧会鑑賞などによる教育プログラム(つちっこプログラム)の提供。 | | | | ○引き続き来園制作および出張授業を行っていく。陶芸作家やボランティア等の協働により、多くの方にプログラムが提供できるよう体制強化を図っていく必要がある。 ○つちっこプログラムの周知に力を入れることで、参加者の増加につなげる必要がある。 | | | | 3,000 | モノづくり振興課 | 87 |
| | | | | 「つちっこプログラム」の参加者数(R5からは年間実施件数) | 106% | 11,686人 (11,000人) | (230件) | (230件) | (230件) | (230件) | 230件 【R8年度】 | 基本構想実施計画 | | |
| エ 事業承継に向けた取組の支援(1事業) | | | | | | | | | | | | | | |
| 81 | | 新 滋賀発事業承継プロジェクト促進事業 | コロナ禍において、自主廃業が増加することが懸念される中、事業者の事業承継ニーズ掘り起こしを強化するとともに、幅広く活用できる補助金により、事業承継を促進する。 | ○事業承継引継ぎ・支援センターへ照会された、有効な案件に対し報酬を付与。 ○円滑な事業承継に向けた体制整備に向けて行う事業の支援(事業承継円滑化補助金)。 | | | | 令和5年度からの事業承継円滑化補助金について、高齢の経営者にとって「事業承継」が喫緊の課題となっていることを背景に対象を60歳以上とし、また、親族外の事業承継も選択肢として広く認知されるようになっており、M&Aに係る費用についても補助対象経費とする。 | | | | 4,983 | 中小企業支援課 | - |
| | | | | ①事業承継・引継ぎ支援センターへ引き継いだ有効な案件数 | 240% | 48件 (20件) | | | | | | | | |
| | | | | ②事業承継の課題解決に繋がった事業者 | 80% | 8者 (10者) | () | () | () | () | 【】 | | | |

令和4年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策の実施状況一覧の実施状況一覧

【別冊1別冊】

| 通番 | 項目 | 事業名 | 事業概要 | 事業の実施状況 (R05.3月末) | | | 課題と今後の取組 | | | | 決算額 (千円) | 担当課 | 再掲 | |
|---|----|----------------|--|---|--------------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|----------|-----------|-------|----|
| | | | | 指標 | 達成度% 令和4年度の 実績値 (目標値) | 令和5年度の 実績値 (目標値) | 令和6年度の 実績値 (目標値) | 令和7年度の 実績値 (目標値) | 令和8年度の 実績値 (目標値) | 最終目標値 【事業の 最終年度】 | | | | 備考 |
| (5)近江の地場産業および近江の地場産品に対する関心および理解を深めるための、普及啓発、多様な学習機会の提供等(11事業) | | | | | | | | | | | | | | |
| ア 地場産業等への関心を高め、理解を促進するPRイベント等の実施(4事業) | | | | | | | | | | | | | | |
| 82 | | 近江の地酒文化普及事業 | 近江の地酒に関する魅力を発信し、県民等の近江の地酒に対する愛着を高め、地酒でもてなす機運を醸成することで新たなファン獲得や需要の掘り起こしを行い、滋賀への誘客促進や関係人口の創出を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ○「近江の地酒」に関する魅力の発信 <ul style="list-style-type: none"> ・近江の地酒もてなし普及協議会開催 ・地酒イベント、地酒研修会の開催 ・Web広告に係る情報発信 ○「近江の地酒」認知度向上・ファン獲得 <ul style="list-style-type: none"> ・滋賀県酒造組合が首都圏等で開催するイベントを支援 ・近江の地酒ファン獲得に繋がる資材の作成 | 198% | | | | | | | (再掲) | 観光振興局 | 5 |
| | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・商談件数 ・一般参加型イベント参加者 | 99件、11,403人 (50件、10,000人) | () | () | () | () | 【] | | | | |
| 83 | | しがの地産地消・食育推進事業 | 県域および各地域の地産地消推進会議の開催や農業体験等による食育活動により、地場農産物の生産拡大と地域内流通および農からの食育を促進する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○地産地消等を推進する会議の開催 のべ10回 ○食育体験等の促進支援 | | | | | | | 224 | みらいの農業振興課 | - | |
| | | | | - | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | 【-] | | | | |
| 84 | | 近江米消費拡大推進事業 | 関係団体等と連携し、世代やターゲットごとに新たな食べ方提案やエビデンス等に基づいた近江米の魅力を発信する。また、子どもたちへの食育活動や消費者自ら近江米の魅力を発信することで近江米のファンをさらに広げる。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ラジオ生放送特番 (11/19放送) 近江米PR隊長による近江米や米食の魅力をPR ○「#朝から近江米」ラジオコーナー (9/30～11/18) 計6回 ○「#朝から近江米」写真投稿キャンペーン(8/10～10/31) 投稿数385 | 92.6% | | | | | | (再掲) | みらいの農業振興課 | 7 | |
| | | | | 消費者によるSNS等への近江米魅力発信の投稿数 | 926 (1,000) | (1,500) | () | () | () | 1,500 【R05年度】 | | | | |

令和4年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策の実施状況一覧の実施状況一覧

【別冊1別冊】

| 通番 | 項目 | 事業名 | 事業概要 | 事業の実施状況 (R05.3月末) | | | | 課題と今後の取組 | | | | 決算額 (千円) | 担当課 | 再掲 | |
|----------------------------------|----|--|---|---|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|----------------|-------------|----------|----------|----|
| | | | | 指標 | 達成度% | | | 令和7年度の 実績値 (目標値) | 令和8年度の 実績値 (目標値) | 最終目標値 【事業の 最終年度】 | 備考 | | | | |
| | | | | | 令和4年度の 実績値 (目標値) | 令和5年度の 実績値 (目標値) | 令和6年度の 実績値 (目標値) | | | | | | | | |
| 85 | | 文化施設管理運営費 | 県民が文化芸術活動を行う拠点となる県立文化施設（文化産業交流会館）について、事業の実施および施設の管理運営等の業務を指定管理者が行うための管理料等を支出する。 | ○邦楽・邦舞の公演やその次世代育成事業等を通じて、和楽器をはじめとする伝統芸能の普及に取り組むとともに、関連企画として伝統産業に触れる機会を提供した。 ・邦楽・邦舞公演「長栄座」および伝統産業展 ・和楽器の若手演奏家の養成事業 ・邦楽演奏家の学校派遣事業「和のじかん」 ・子供向け伝統芸能普及事業「古典芸能キッズワークショップ」 | - | - | - | - | - | - | - | 322,785 | 文化芸術振興課 | 92 | |
| | | | | | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | 【-】 | | | | |
| イ 小中学生等が地場産業等にふれ、理解を深める機会の提供(7業) | | | | | | | | | | | | | | | |
| 86 | | 新 地域で取り組む担い手育て事業 | 地場産業、伝統工芸の関係人口の増加を図ることを目的に、地域団体等（観光協会や伝統的工芸品の保存会、商工会、学校など）が行う、地場産業や伝統工芸の魅力発信につながる取組について支援する。 | ○地場産業や伝統的工芸品の魅力を発信するための事業を実施するために直接必要と認められる経費に対して補助した。（6者） | - | - | - | - | - | - | - | 518 | モノづくり振興課 | - | |
| | | | | | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | 【-】 | | | | |
| 87 | | 世界にひとつの宝物づくり事業 | 陶芸作家やボランティア等との協働により、子どもや障がい者が「土」とふれあい、モノづくりの喜び・感動や本物の芸術を体感できるプログラムを提供することにより、陶芸に理解のある次世代の人材育成を図る。 | ○子どもや障がい者等を対象にした制作体験や展覧会鑑賞などによる教育プログラム（つちっこプログラム）の提供。 ○引き続き来園制作および出張授業を行っていく。陶芸作家やボランティア等の協働により、多くの方にプログラムが提供できるよう体制強化を図っていく必要がある。 ○つちっこプログラムの周知に力を入れることで、参加者の増加につなげる必要がある。 | 106% | 11,686人 (11,000人) | (230件) | (230件) | (230件) | (230件) | 230件 【R8年度】 | 基本構想実施計画 | (再掲) | モノづくり振興課 | 80 |

令和4年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策の実施状況一覧の実施状況一覧

【別冊1別冊】

| 通番 | 項目 | 事業名 | 事業概要 | 事業の実施状況 (R05.3月末) | | | | 課題と今後の取組 | | | | 決算額 (千円) | 担当課 | 再掲 |
|----|----|---|--|--|--------------------------------|------------------------|------------------------|--|------------------------|------------------------|----|-------------|-----------|----|
| | | | | 指標 | 達成度% 令和4年度の 実績値 (目標値) | 令和5年度の 実績値 (目標値) | 令和6年度の 実績値 (目標値) | 令和7年度の 実績値 (目標値) | 令和8年度の 実績値 (目標値) | 最終目標値 【事業の 最終年度】 | 備考 | | | |
| 88 | | たんぼのこ体験事業 | 小学生自らが農産物を「育て」、「収穫し」、そして調理して「食べる」という一貫した体験学習を通して、農業への関心を高めるとともに、生命や食べ物大切さを学ぶ「農からの食育」を推進する。 | ○小学校が行う農業体験学習への支援 ・202小学校で事業申請（県内小学校222校） | | | | ○県内全ての小学校で農業体験が実践されるよう、市町やJA等と連携して、引き続き「たんぼのこ体験事業」の活用を働きかける。 | | | | 自治振興 交付金 | みらいの農業振興課 | - |
| | | | | - | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - 【-】 | | | | |
| 89 | | 新 新時代の近江牛応援団づくり事業 | 県内の児童等が近江牛や食の安全に対する理解を深め、将来の近江牛ファンを育てるだけでなく、関係者同士が近江牛のPRを通じて有機的なつながりを持ち、新たな近江牛応援団を獲得する取組に対し支援する。 | ○将来の近江牛応援団を育てる取組等、関係者同士が有機的なつながりを図る取組を支援（補助金） | | | | ○引き続き、近江牛の出前講座により、近江牛への愛着度を高めながら、将来の近江牛ファンの確保や職業としての農業や食肉販売業の担い手を確保する取組を継続する必要がある | | | | (再掲) | 畜産課 | 10 |
| | | | | - | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - 【-】 | | | | |
| 90 | | 創 びわ湖のめぐみ食文化継承促進事業 | 学校給食に湖魚が提供されることで、湖魚を食べる機会の増加、認知度向上や消費拡大を図る。 | ○比較的高価で学校給食に導入しづらい湖魚食材に対して支援して、ピワマス等を108,927食提供 ○試作会へのサンプル湖魚食材の支援 | | | | 【課題】 ○給食での湖魚利用のさらなる拡大 ○学校給食関係者への湖魚食材に関する情報発信 【今後の取組】 ○学校給食関係者への湖魚食材について知ってもらうため勉強会などを通しての情報発信や湖魚食材を活用してもらうための取組へ支援 | | | | 7,730 | 水産課 | - |
| | | | | 学校給食での湖魚の年間平均使用回数 | 101% 8.3回 (8.2回) | () | () | () | () | 10回 【R07年度】 | | | | |

令和4年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策の実施状況一覧の実施状況一覧

【別冊1別冊】

| 通番 | 項目 | 事業名 | 事業概要 | 事業の実施状況 (R05.3月末) | | | | 課題と今後の取組 | | | | 決算額 (千円) | 担当課 | 再掲 |
|----|----|-----------------------|--|--|------------------------|------------------------|------------------------|---|------------------------|------------------------|----|-------------|---------|----|
| | | | | 指標 | 達成度% | | | 令和7年度の 実績値 (目標値) | 令和8年度の 実績値 (目標値) | 最終目標値 【事業の 最終年度】 | 備考 | | | |
| | | | | | 令和4年度の 実績値 (目標値) | 令和5年度の 実績値 (目標値) | 令和6年度の 実績値 (目標値) | | | | | | | |
| 91 | | 創 中学校チャレンジ ウィーク | 中学校において5日間程度 の職場体験を実施し、働く 大人の姿にふれたり、自分 の生き方を考えたりする機 会とし、自分の進路を選択 できる力や将来社会人とし て自立できる力を育てる。 | | 53% | | | | | | | 248 | 幼小中教育課 | |
| | | | | 全公立中学校 における地元 の事業所を中 心とした職場 体験を5日間 程度実施した 学校の割合 | 53% (100%) | - (100%) | - (-) | - (-) | - (-) | 100% 【-】 | | | | |
| 92 | | 文化施設管理運営費 | 県民が文化芸術活動を行う 拠点となる県立文化施設 (文化産業交流会館)につ いて、事業の実施および施 設の管理運営等の業務を指 定管理者が行うための管理 料等を支出する。 | ○邦楽・邦舞の公演やその次世代育成事業等を通 じて、和楽器をはじめとする伝統芸能の普及にと り組むとともに、関連企画として伝統産業に触れ る機会を提供した。 ・邦楽・邦舞公演「長栄座」および伝統産業展 ・和楽器の若手演奏家の養成事業 ・邦楽演奏家の学校派遣事業「和のじかん」 ・子供向け伝統芸能普及事業「古典芸能キッズ ワークショップ」 | | | | ○令和5年度は「芝居小屋『長栄座』夏のフェスティ バル」として、琵琶湖や竹生島をテーマに、親しみや すい作品の制作・公演等を行うとともに、和楽器を はじめとする滋賀の伝統的工芸品への理解を深めて いただく「近江のあたらしい伝統産業展」を実施し、そ の魅力を次世代に伝えていく。 | | | | (再掲) | 文化芸術振興課 | 85 |
| | | | | - | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - 【-】 | | | | |

令和4年度 近江の地場産業および近江の地場製品の振興に関する施策の実施状況一覧

【資料1別冊】

| 通番 | 項目 | 事業名 | 事業概要 | 事業の実施状況 (R05.3月末) | | | 課題と今後の取組 | | | | 決算額 (千円) | 担当課 | 再掲 | |
|--|----|-----------------|--|---|--------------------|--------------------|--------------------|------|--------------------|--------------------|-------------|------|----------|--------------------|
| | | | | 指標 | 令和4年度の実績値 (目標値) | 令和5年度の実績値 (目標値) | 令和6年度の実績値 (目標値) | 達成度% | 令和7年度の実績値 (目標値) | 令和8年度の実績値 (目標値) | | | | 最終目標値 【事業の最終年度】 |
| (6) 近江の地場産業および近江の地場製品に関する実態についての定期的な調査および分析(1事業) | | | | | | | | | | | | | | |
| ア 近江の地場産業および近江の地場製品の実態について概ね5年を目安として調査を実施(1事業) | | | | | | | | | | | | | | |
| 93 | | 近江の地域産業振興総合支援事業 | 地場産業組合等が実施するブランド力の向上、後継者育成、海外展開や販路拡大等の戦略的、持続的な取組に支援する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○地域産業総合推進事業 施策推進協議会や地場産業表彰を実施した。 ○地場産業事業者等販路開拓応援事業 デザイナー等の専門家を事業者の元に派遣し、海外に向けたマーケットインでの商品開発や販路開拓をの取組を支援した。 ○地場産業組合等指導支援補助金 滋賀県中小企業団体中央会が地場産業の振興を目的にして行う新事業創出のための啓発活動や指導事業等に対して助成した。 ○地場産業組合等海外展開戦略等支援補助金 国内外の販路開拓や後継者育成に取り組んだ組合に対して助成した。 | 87% | | | | | | | (再掲) | モノづくり振興課 | 4 27 72 |
| | | | | 商品開発や販路開拓に取り組んだ事業者の数 | 13者 (15者) | () | () | () | () | 15者 【R04年度】 | | | | |